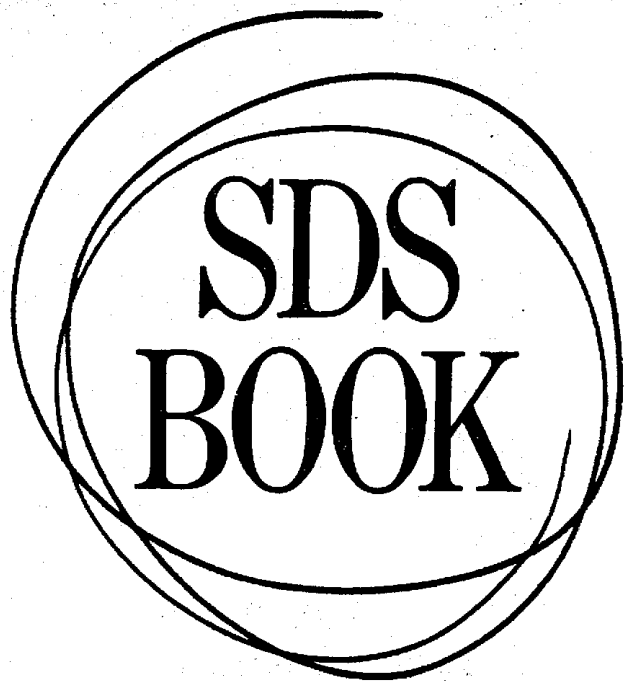


■じゅうふたいせつじ

feelin' YAMAHA



SDS BOOK

Vol,1

YAMAHA SOUND MAKE-UP WORLD

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION

ヤマハ株式会社

LM営業部

ギター・ドラム営業課

〒430 浜松市中沢町10-1

TEL: 0534-60-2431(ダイヤルイン)

1990年4月作成

カタログコードLGD-055

I N D E X

CONCEPT OF THE SDS	3
SOUND MAKE UP GUIDANCE	
エフェクターの種類と役割	4
SDSの接続順	8
ジャンル別SDSセッティング	10
ベーシストのSDS	12
アンプとの接続	13
SDS LINE UP	
ディストーション系	
DI-100	14
MBD-100	16
SHD-100	18
DM-100	20
オーバードライブ系	
OD-100	22
BD-100	24
COD-100	26
ODE-100	28
コンプ系	
CS-100	30
CO-100	32
コーラス系	
DC-100	34
CH-100	36
PH-100	38
FL-100	40
ディレイ系	
DD-100	42
DDS-100	44
EQ系	
GC-100	46
GE-100	48
OTHERS	
NR-100	50
MS-100	52
for BASS	
BL-100B	54
CH-100B	56
FL-100B	58
GB-100	60
ACCESSORIES	
チューナー	62
ヴォリュームペダル & ノワーサブライ	64
SIGNAL PROCESSOR	
FX500, FX500B, SPX900, R100, #100シリーズ	66

CONCEPT OF THE SDS

ヤマハ・サウンド・デバイス・シリーズSDSは、単体における高完成度の追求を基本コンセプトに、複数ユニットの組み合わせユースまでも前提に開発。あらゆるシチュエーションにおいて、プロユースに耐えるサウンド・クオリティと信頼性の獲得を目標に生まれたエフェクト・ユニットです。

SOUND:従来のコンパクト・エフェクターには、エフェクトのかかりを聴感的に向上させるために、ローカット、ハイブースト等の色付けが成されたものが多く存在しました。この方法ではギター本来のナチュラルなトーンが犠牲となってしまいます。ヤマハSDSは、ギター本来のトーンを100%生かした上で、高品位のエフェクトを最大限にブレンドするため、各デバイスの基本回路から独自に設計・開発しました。この結果、ギター本来のトーン、エフェクト音ともに、ローエンドからハイエンドまで極めてナチュラルなクオリティを獲得。単体での使用時はもちろん、複数を同時に使用した場合でも音ヤセがなく、不要なトーン・キャラクターも付加されません。

UTILITY:コンパクト・エフェクターとして最高のポテンシャルを発揮する理想的なサイズを追求し、ボディサイズは70W×61H(EQ系は55H)×126Dmmに設定。ボディ本体は、フットペダルとしての耐久性、安定性と、可搬性を高度にバランスさせた重量設計。足でのスイッチングという過酷な使用状況を宿命づけられたコンパクト・エフェクターに欠かせない、抜群の信頼性と安定性を実現しています。さらに、イン/アウト・ジャック、DCジャック等、特設にサウンドと密接な関係にあたるパーツはレイアウト、耐久性を十分に考慮。電池のワンタッチ交換、視認性に優れたツマミ形状、コントロールしやすいツマミのレイアウトなど、ディテールへのこだわりは、プロのニーズを知り尽くしたヤマハならではのアプローチです。

いい音と出会いたい時、新しい音を手に入れたい時、本書を聞いてください。そこには必ず、ギタリストとベーシストのパワーとなるSDSがスタンバイしているはず。

SOUND MAKE-UP WORLD
YAMAHA

エフェクターの種類と役割を整理する。

エフェクターは、ギターとアンプだけでは作り出せない様々なサウンドをクリエイイしたり、複雑なセッティングなしに瞬時にサウンドを変化させたりするデバイス(装置)です。中でも、足元でのスイッチングを前提に設計されたものは、コンパクト・エフェクターと呼ばれ、SDSシリーズはこのタイプに属します。コンパクト・エフェクターは、その小さな外観からアクセサリととらえられがちですが、極めて高いサウンド・クオリティが

要求されるという点において、ギター・ベース等の楽器とならん変わりはありません。選択の際には、弾きたい音楽にベスト・マッチするデバイスを見極めることが必要です。SDSシリーズに揃った24の個性をしっかりと理解すれば、自分の求めていた音が見えてくるでしょう。

まずは理解を深めるために、エフェクターを大きく6種類に分け、それぞれの機能、使用法などを説明していきます。

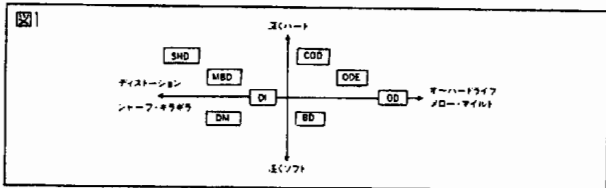
Distortion系 DI, MBD, SHD, DM, OD, BD, COD, ODE

ディストーション、オーバードライブと呼ばれるのもので、チューブアンプをフルにドライブさせたようなマイルドなサウンドを出したり、サウンドにパンチを加えるために、音を歪ませる働きをします。ロック・ミュージックには不可欠な“歪み”をクリエイするデバイスです。また、近年では更に深く滑らかに歪ませるために、アンプとディストーション、または複数のディストーションで歪みを作る事も多くなっていきます。

Effective Function

音を歪ませて荒々しいサウンドに変えます。それと同時に、アタック感を減らしサステイン感を増します。

あるレベルより大きな信号をカットし、音量が落ちた分を増やして出力します。カットした切り口のザラつきが歪みのキャラクターになると思って良いでしょう。



SDS Character

SDSディストーション系には、ディストーション4機種、オーバードライブ4機種の計8機種ものデバイスがあります。一般にディストーションはシャープでギラギラとした音、オーバードライブではマイルドで暖かい音を作るのに向いています。それぞれが個性的なサウンドキャラクターを持っているので、図1を参考に自分に最も適した機種を選んで下さい。

なお、DI, OD, CODは、コンプレッサー回路(参照・コンプレッサー系)を内蔵しているため、独得の粘りかある音を創造。MBD, SHD, BD, ODEは、素直なアタック感を表現します。

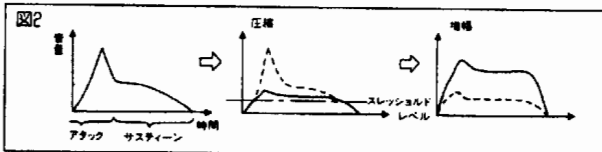
また、DMはシンプルなディストーションにモジュレーションディレイ(参照・モジュレーション系)をプラスしたユニットです。

Compressor系 CS, CO, GC, BL-B

コンプレッサー、リミッターと呼ばれているもので、アタックを押さへ、サステイン感を強めて、クリーンで非常に伸びのあるギター・サウンドを作ります。ソロやコード・カッティングでのピッキングのバラつきを整えて音の粒を揃えるような、補正的な使い方から、アタックをグッと押さえてどこまでも伸びるサステイン感あるサウンドを作るといった積極的な使い方でも、使用法は様々です。

Effective Function

音の立ち上がり(アタック)の音量を押さへ音の伸び(サステイン)の音量を上げます。ディストーションと似ているようですが、実際のサウンドは正反対とも言える、全く違ったトーンです。図2のように、あるレベル(スレッシュホールドレベル)より大きな信号を圧縮し、圧縮し



て音量が落ちた分を増幅します。

SDS Character

最もオーソドックスなコンプレッサーはCO、音やセのないフラットなトーンが特徴。COをさらに速弾きに対応させたものがCS、ピッキング・アタックを重視するギタリスト向きです。GCは、オーソドックスなコンプレッサーに5バンド・グラフィック・イコライザーをプラスした欲張りなデバイス。

BL-Bはベース用リミッター。圧縮比をコントロールできるプロフェッショナル・スタジオのような音創りが可能です。圧縮比までコントロールしたいギタリストやキーボードリストにもおすすめです。

EQ系 GC, GE, GB

音質をキメ細かく、幅広くコントロールします。オーディオやギターアンプのトーンコントロールは2~3バンド(周波数帯、BASS, MIDDLE, TREBLE等)が普通ですが、グラフィックイコライザーはもっと多くのバンドをスライドボリュームを使ってより細かくコントロールできます。ギターやアンプ、その他のSDS内蔵トーン・コントロールだけでは調整できないサウンドメイクのために使われます。もちろん

瞬時にトーンを変化させるためにも使われます。

Effective Function

グラフィック・イコライザーは、各バンドごとスライドボリュームを使って調整しますから、トーン・コントロールの状態を視覚的にとらえる事ができ、より確実なサウンドメイクが可能です。

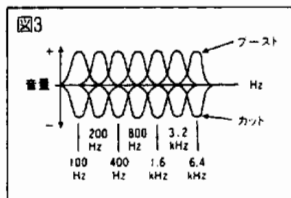
図3のように、低域から高域までに幾つかの周波数を決め、それぞれの周波数を中心とした周波数帯をブースト/カット(強めたり弱めたり)して音色を変化させます。

■SDS Character

ギターやキーボードの音域には、100 Hz~6.4 kHzの7バンド・グラフィック・イコライザーGE、ベースの音域には50 Hz~3.2 kHzの7バンド・グラフィック・イコライザーGBが向いています。

また、100Hz~3.2kHzの5バンド・グ

ラフィック・イコライザーにコンプレッサーをプラスしたGCは、瞬時に両方のON/OFFができるため、カラフルでよりスピーディなサウンド・チェンジに向いています。



Delay系 DD, DDS

音を遅らせて山彦のようなエコーを付加させます。音を遅らせるためにBBDという素子を使ったものをアナログ・デレイ、PCMを使ったものをデジタル・デレイと呼びますが、原音を忠実に再現するデジタル・デレイが主流となっています。

サウンドに奥行きや伸びを与え、ソロでは頻りに使われますが、スローなアルペジオ等にも大変効果的です。

■Effective Function

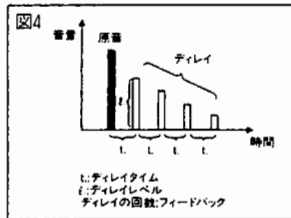
入力した音を遅らせて出力します。何度も繰り返して出力するデレイをリビート・デレイ、一度だけ出力するデレイをシングル・デレイと呼びます。

図4のように、原音の後にデレイ音が出力されますが、デレイ音の間隔や音量、繰返し数をコントロールして様々なサウンドをクリエイトできます。原音とデレイ音との間隔(デレイ音とデレイ音との間隔)はデレイタイム、デレイ音の音量はデレイレベル、繰返し回数はフィードバックと呼ばれています。SDSで

はそれぞれをDELAY TIME、DELAY LEVEL、FEED BACKのつまみでコントロールするようになっています。

■SDS Character

SDSシリーズのデジタルデレイは、DDとDDSの2機種。多くのデジタルデレイと違い、デジタル特有のドンシャリ感の無い暖かいサウンドが特徴です。オーソドックスな使用にはDD、サンプラーを使ったトリッキーなプレイ等を求めるプレイヤーにはDDSが良いでしょう。



Modulation系 DC, CH, PH, FL, DM, CH-B, FL-B

コーラス フランジャーと呼ばれるもので、音に厚みを加えたりウネリを加えたりするものです。コーラスは一本のギターでも複数のギターがユニゾンで演奏しているような厚みを加え、フランジャーは独特なウネリのあるサウンドを作り出します。

隠し味的に薄くかければ、常時かきっぱなしでも効果的ですし、深くかければサウンドにメリハリをつける事ができますし、

なお、フェイザーも音にウネリを加えますが、フランジャーとは違った爽やかなサウンドで、スピーカーが回転しているような効果です。SDSのモジュレーション系は、全モデルともアナログ回路を採用し、暖かくなり自然なエフェクト音を表現できます。

■Effective Function

コーラス/フランジャーは、デレイの一種です。デレイにより音をごくわずかに遅らせ、ピッチを電子的に上下に動かして原音をミックスさせることで、コーラス/

フランジャーの効果を作っています。遅らせる時間や、ピッチの上下幅、ピッチ変化のテンポ等をコントロールすれば様々なニュアンスのサウンドが得られます。

なお、フランジャーは音の位相を遅らせて原音とミックスして効果を作ります。

■SDS Character

音に厚みや広がり感を加える場合はコーラスCH、深みとワイド感にこだわりたいプレイヤーは、トライ(3相)コーラスのDC、よりキレの強いウネリや厚みを加えたい場合はFLが向くでしょう。軽やかな回転感にはPHで得られます。

なお、ベースには、サウンドの土台となる低音部には効果をおかず、中高域にのみ効果がかかるCH-B、FL-Bをおすすめします。ベース専用なのでベースの役割を妨げる事はないコーラス/フランジャー効果を得る事ができます。

また、DMはシンプルなディストーションに、モジュレーションをプラスしたユニゾン・ディストーション+コーラス等のサウンドが一台で得られます。

Others NR, MS

SDSにはこれまでの5種類に含まれない個性的なデバイスも用意されています。

NRは、ギターの自然なハーモニクスを損なわずに、耳障りなノイズ成分だけをカット/マスキングしてしまうデバイス。SDSはそれぞれ低ノイズのデバイスでノイズ対策は万全ですが、特にディストーションやコンプレッサーといったゲインを上げるエフェクトを多用した場合、ギター自体やシールド(接続コード)がどうしても拾ってしまう外来ノイズは耳障

りになります。これをシャットアウトするのがNRです。

MSは、SDSを複数使用するプレイヤーのためのデバイス。複数のデバイスを同時にON/OFFしたり、2組のエフェクトの流れを瞬時に切換えたり、ラックマウントタイプのエフェクトにSDSを組み合わせさせて使う時に便利なデバイスです。エフェクトが増える程、この有難みが顕著でしょう。

複数のデバイスを正しい順番で接続する。

SDSの機能を100%生かすためには、まず自分の好みに合った適確なデバイスを選択し、それらを正しく接続する事が大切です。その上で各々のデバイスを正しくセッティング(ツマミをコントロール)して初めてSDSの力を発揮する事ができる訳です。ここではエフェクターのオーソドックスな接続順を話しておきましょう。

最もオーソドックスな接続順は、図1のようになります。通常はこの順に従ってればSDSの実力を100%発揮できる事になります。イコライザー系はAとBの2箇所に示してありますが、これは図2のように考えると良いでしょう。

Aのようにディストーション系の前に置いた場合は歪み前のトーンを、Bのように後に置いた場合は歪み後のトーンをコントロールする事になります。ディストーション系のデバイスは、その他のデバイスと性格が全く違います。エフェクター接続順を考える場合は、ディストーション系を中心に、その前後に何を接続するのを考

えていく事が大切です。

たとえば、モジュレーション系エフェクトならディストーション系の前に置けば、歪み方にウネリが生じ、後に置けば歪んだ後全体に効果が掛かります。また、ボリューム・ペダルの場合は、前に置けば歪みの深さと音量をコントロールする事になり、後に置けば歪みの深さは一定で音量だけをコントロールする事になります。ディストーション系の前、後の範囲内での順番はそれほど神経質にならなくても良いでしょう。ただディレイとボリューム・ペダルの順番には注意が必要です。ボリューム・ペダル→ディレイの順なら、ペダルでボリュームを絞ってもディレイ音は自然に残ります。ディレイ→ボリューム・ペダルの順なら、ペダルでボリュームを絞るとディレイ音も消えてしまい、不自然な感じになる事もあります。

CH、CSなどのSDSをステレオ出力して用いる場合は、エフェクター列の最後に置き、2台のアンプに接続します。

図1

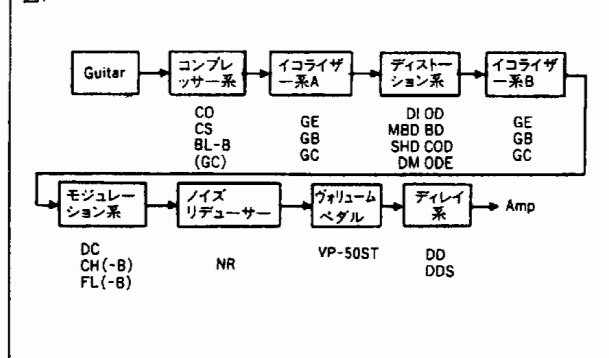
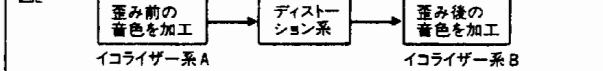


図2

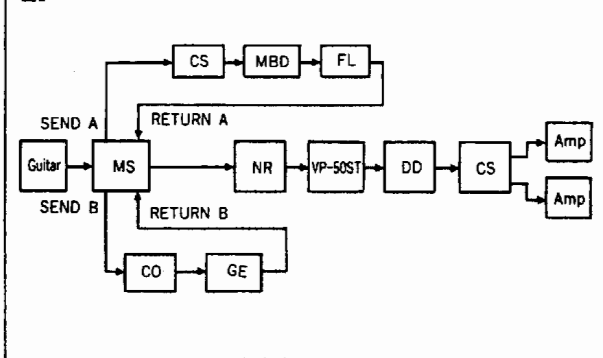


MSは、複雑化するフットSWのコントロールを整理できるデバイスです。たとえば図3のように接続すれば、3通りのエフェクトの組合わせをMSのみで瞬時に切換える事ができます。図3は、クリーン・サウンドのパッキングに、NR、CSをかけ、ディストーション・サウンドのソロでCS、MBD、FLをプラス、クリーン・サウンドのソロでは、COとGEをプラスする、というセッティング。3つのサウンドをMSでチェンジします。DDのディレイ効果は、自然

な効果を得るために、ボリューム・ペダルの後に接続し、ソロの時はMS&DDを両方踏んだ方が良いでしょう。CSはステレオ出力するため、エフェクター列の最後尾に置きます。

なお、多数のSDSを使用する場合、電源はパワーサプライAC-320から供給した方が安全性やコストの面で有利でしょう。

図3



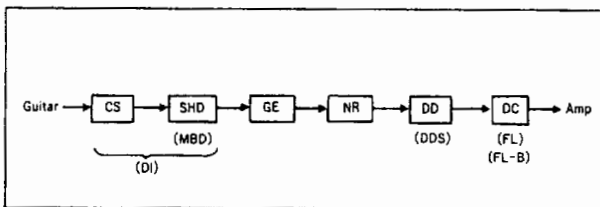
弾きたいジャンルに合わせたセッティングをする。

弾きたい音楽ジャンルにあったサウンドを作る近道は、そのジャンルにふさわしいエフェクターを正しく組み合わせることです。SDSの多彩な個性を効果的に

接続して、イメージ通りのサウンドをクリエイトしてください。なお、それぞれのSDSのツマミのセッティングは各機種のページを参考にしてください。

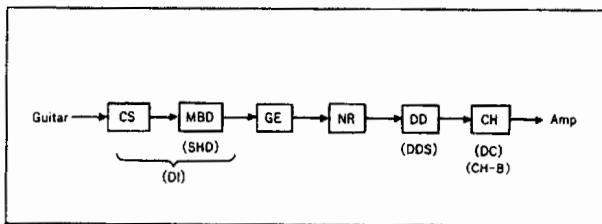
■メタル

ギラギラとしたドンシャリ・サウンドに、低音弦のリフの厚みをプッシュしたい時にモジュレーション系を加えたセッティングです。ゲインが高いのでNRもめっちゃいいでしょう。低音をストレートに出すためベース用のFL-Bも向きます。



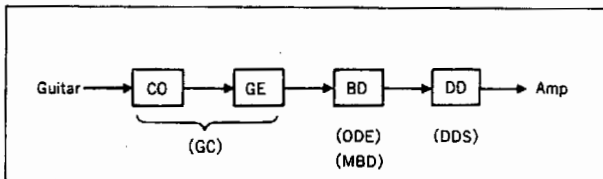
■アメリカン・ハードロック

カラッとしたドンシャリ・サウンドに、モジュレーション系で拡がりやナチュラルな厚みを加えます。低音をストレートに出すためベース用のCH-Bも良いでしょう。



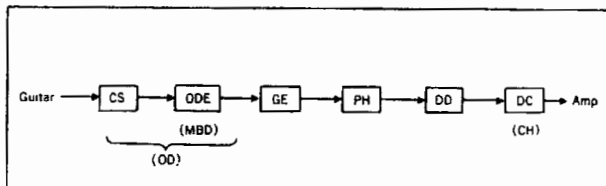
■BEAT ROCK/R&R /BLUES

シンプルなセッティング。ディストーション系デバイスを選び方でジャンルに合った歪み音が得られます。クリーン・トーンはコンプ+EQでサウンドメイク。



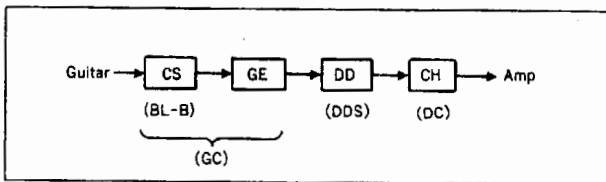
■POPS/FUSION

ソフトでコンプレッションの効いた歪み音と、モジュレーション系による爽やかなクリーン・トーンを使い分けします。PHも効果的です。



■JAZZ

クリーン・トーンのアタックをコンプ系で押さえ、EQでマイルドなトーンにコーラス、ディレイは控え目に。ベース用リミッター-BL-Bとの相性も良いでしょう。



ベーシストにはベーシストのSDSがスタンバイしている。

エフェクターとアンプを効率よく接続する。

ベースはアンサンブルの土台となる低音を出す楽器。そのベースの特性を充分に考慮し、設計・開発されたのがベース専用SDSです。

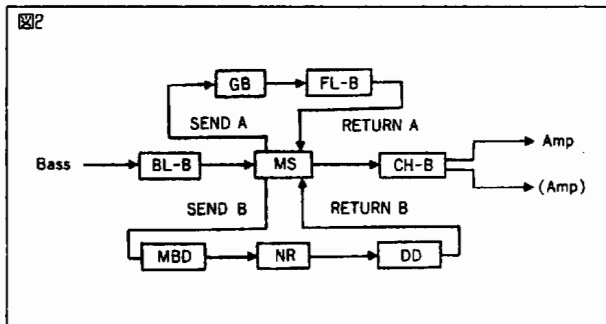
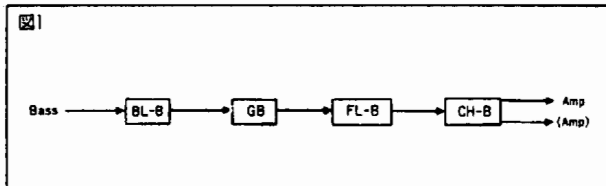
CH-B、FL-Bは、ベースの基音となる部分には効果をかけず、中高域の倍音成分のみに効果をかけ、アンサンブルの土台となる低域の音エフェを無くし、安定感を保ったまま深いコーラス/フランジャー効果が得られます。

BL-Bは、ギターよりもキメ細かいアタックやサステインのコントロールが要求されるベースのために開発されたリミッターです。プロの現場では必ず使われるリミッターをコンパクトボディに収納したデバイスです。

GBは、ギターより音域の低いベース用にコントロールする周波数帯を低く設定した7バンド・グラフィック・イコライザーです。

これらは図1のような接続順で使用すると良いでしょう。

ベース専用SDSの他にも、ベースに使用し効果的なデバイスがあります。図2はそれらを組合せた例です。MSのAルーブをオンにすると、ストラップに合ったサウンドに、Bルーブをオンにするとディストーション・サウンドのベース・ソロに、バイパスするとオーソドックスなフィンガー・ピッキングのトーンになります。

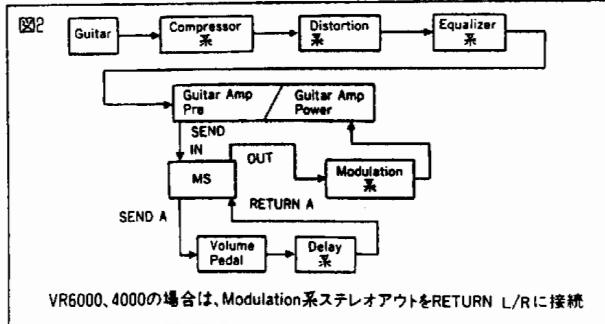
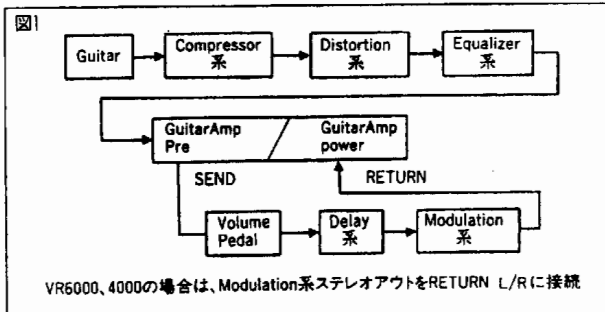


ギターアンプを使って歪んだドライブ・サウンドを作る場合、モジュレーション系、ディレイ系のエフェクトを通してからアンプにプラグインすると、クリーンなエフェクトの効果が得られない事が多いものです。この場合、ギターアンプの SEND/リターン端子を利用して、そこにエフェクターをつなげばクリーンなエフェクトがかかります。

図1のように、アンプより前にコンプレッサー系、ディストーション系、イコライザー系をつなぎ、アンプの SEND/リターン端子にモジュレーション系、ディレイ系を接続

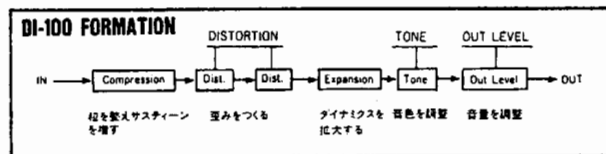
します。イコライザー系は SEND/リターン端子側でも良いでしょう。ギターアンプのプリ部をディストーション系エフェクトと違って接続していく訳です。(参照・エフェクター接続順)

この際注意したいのは、アンプの SEND端子からは、ギターからより大きなレベルの信号が出力されている点です。このため、ディレイ系デバイス内で不要な歪みが生じてしまう事もありますからこの時は、MSを使い図2のように接続し、LOOP GAIN SENDからのレベルを下げてやる良いでしょう。



独自の歪み回路を採用し、あらゆるディストーション・ニュアンスを表現。

DI-100は、圧倒的な迫力とマイルドな味わいを両立させたディストーションサウンドが自慢。コンプレッサー→2段ディストーション→エキスパンダーという、クオリティの高い歪みを生む独自の回路構成を採用。TONEの調整により、オーバードライブに近いマイルドなサウンドから、ディストーション特有のハードな歪みまで、多彩な歪みサウンドをクリエイト。ギタリストの期待に100%応えるディストーション・デバイスです。



DI-100 COMMAND

- OUT LEVEL: エフェクトON時の最終的な音量を設定します。右に回すほどレベルが上がります。ON/OFF時の音量バランスを調整してください。
- DISTORTION: 歪みの強さを調整します。MAX側に回すと歪みの強さが増し、音の伸びが長くなります。
- TONE: 音色を調整します。MAX側に回すと高域をブーストし硬い音に、MIN側に回すと低域をブーストし柔らかい音になります。

SPECIFICATIONS

- 定格入力: -20dBm at 1kHz ● 定格出力: -10dBm at 1kHz ● トーンコントロール (TONE): ±6dB at 2kHz ● ゲインコントロール (DISTORTION): 24dB at 1.3kHz ● クリップ比: 70%, 入力0dB, @0dB = 775mV, DISTORTION at center ● ファンクション: OUT LEVEL, DISTORTION, TONE ● 端子: INPUT, OUTPUT ● 消費電流: 16mA (DC 9V) ● 電源: 9V乾電池 [S-006P (N)] ● オプション: ACアダプター (AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

SOUND INSTRUCTION

DISTORTIONとTONEの設定でDI-100は様々なニュアンスのディストーションサウンドをクリエイトします。

深く伸びのある、ナチュラルトーン

①のように、DISTORTIONをMAX方向に回して強めに歪ませ、TONEを少しMIN側に絞りぎみにセットします。アンプはクリーンサウンドに合わせて若干ハイエンドを強調する事が多いので、ディストーションON時には、SDS側でハイを少し絞っておく訳です。OUT LEVELでON/OFF時の聴感上のバランスが同等になるセッティングにします。ハムバックングPUなら①のあたり、シングルコイルPUならもう少し絞ったあたりでしょう。ソロでグッとヴォリューム・アップさせたい時はもっと上げてしまっても構いません。

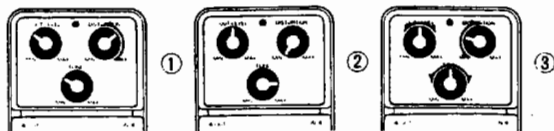
ジャリリとしたクランチサウンド

②のように、DISTORTIONを控えめに、TONEを若干MAX側にセットします。DI-100独自のコンプレッションがかかった上でエッジの立ったクランチサウンドは、バックキングにもソロにも

フィットします。トレブリーなニュアンスがどのくらい欲しいかで、TONEのセッティングは変わりますが、ハムバックングPUなら②のあたり、シングルコイルPUなら絞りぎみにセットすると良いでしょう。DISTORTIONをMAX側にセットし、ギターヴォリュームを下げて同様のサウンドが得られます。

プリディストーション・ブースターとしての使用

③のように、DISTORTIONを控えめに、セットし、オーバードライブさせたチューブアンプ等に接続します。アンプ側の歪みのニュアンスを強く出して、より深く歪ませる為には、OUT LEVELを上げ、DISTORTIONを下げます。DI-100の歪みのニュアンスを強く出してより深く歪ませる為には、OUT LEVELを下げ、DISTORTIONを上げます。一般にTONEは、ブーストするよりカットする方がナチュラルな感じが出せるでしょう。使用するアンプのセッティングとのコンビネーションで、多彩なディストーション・サウンドが作れますから、DI-100とアンプの様々なセッティングで試してみてください。



マルチバンドディストーション

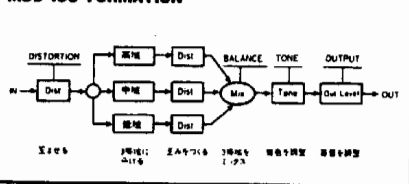
MBD-100 ¥9,000 (税別)



画期的な回路構成により、チューブア

MBD-100は、ハイレベルでナチュラルな歪みをクリエイト。ギターからの信号を低域、中域、高域に分け、それぞれのディストーション回路に入力した後、BALANCEで自由にミックス、さらにTONEで全体をコントロールする画期的な“マルチバンド”ディストーションです。かつてない音の太さ、キメの細かさは、とくに大音量プレイ時に圧倒的。多くのギタリストの夢だったチューブアンプに匹敵するリッチな歪みを創出します。

MBD-100 FORMATION



MBD-100 COMMAND

- OUT LEVEL:エフェクトON時の最終的な音量を設定します。
- DISTORTION:全帯域(低域、中域、高域)の歪みの強さを調整します。
- BALANCE:3帯域のディストーションサウンドをミキシングします。HIに回すと高域を強め低域を弱めます。LOに回すと高域を弱め低域を強めます。
- TONE:ミックスされた3帯域全体のトーンを調整します。MAXに回すと高域をブースト、MINに回すと高域をカットします。

SPECIFICATIONS

- 定格入力:-20dBm ●定格出力:-20dBm ●TONE:+6dB~-9dB(at 3kHz) ●BALANCE(800Hzを基準レベル<0dB>とした場合の200Hz、3kHz成分のレベル):ツマミ位置LO:200Hz=+0dB、3kHz=-16dB ツマミ位置Center:200Hz=-8dB、3kHz=-8dB ツマミ位置Hi:200Hz=-16dB、3kHz=+0dB ●DISTORTION:20dB MAX ●ファンクション:OUT LEVEL、DISTORTION、BALANCE、TONE ●端子:INPUT、OUTPUT ●消費電流:20mA(DC 9V) ●電源:9V乾電池[5-006P(N)] ●オプション:ACアダプター(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

ンプに匹敵するリッチな歪みをクリエイト。

SOUND INSTRUCTION

BALANCEとTONEはどちらも音質を調整しますが、役割が大きく違います。両者のコンビネーションでMBD-100は大変幅広い音色をクリエイト、更にDISTORTIONの設定により、プレイヤーのニーズにピッタリなディストーションサウンドが得られます。

ワイドレンジなディストーション

①のようにDISTORTIONをMAX側に、BALANCEをLO側にセットし、ローエンドのディストーションを強調。そしてTONEをMAX側にして全体のハイエンドをブーストすると、メタル等に向いたレンジ感の広いドンシャリサウンドが得られます。従来のディストーションとEQによるローとハイのブーストでは不可能だった、ナチュラルな低域の厚みは、大型スタックアンプを思わせるパンチのあるサウンドです。

ワイドレンジなクランチサウンド

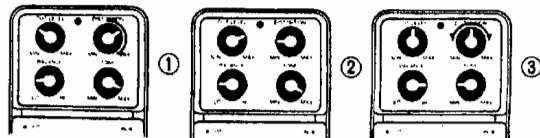
①と同様のBALANCEとTONEのセットで、②のようにDISTORTIONをMIN側にセットして歪みを押しえれば、歪みを軽く残したアルペジオやピート系のトレブリーなリズムプレイに向いたドンシャリのクランチサウンドが得られます。また、①のセッティングでも、ギターのボリュームを絞ってあげれば、②と

同様の音までにナチュラルにニュアンスが変えられる点はチューブアンプに匹敵するほどです。

ウォームなディストーション

③のように、BALANCEをHI側ににしてローエンドのディストーションを弱め、TONEをMIN側にして全体のハイエンドをカットすると、中域を強調した暖かいサウンドが得られます。これもディストーションとEQでは得られなかったナチュラルなもので、小型チューブアンプを思わせる甘いトーンです。DISTORTIONを深めにセットすれば伸々としたリードプレイに、浅めにセットすればブルージーなプレイに向くでしょう。なおこのBALANCEとTONEのセッティングでは、OUT LEVELを高めにセットしてレベルを稼いでおいた方が良いでしょう。

■BALANCEのセッティングはLO側、HI側に回し切らない方が、MBD-100のナチュラルなニュアンスを出し易いでしょう。また、他のSDSディストーション系と同様に、チューブアンプ等のゲインを更に高めてよりハイゲインなディストーションを得る為の、プリディストーションとして使った場合は4つのツマミで様々なニュアンスをクリエイトできます。



スーパーハードディストーション

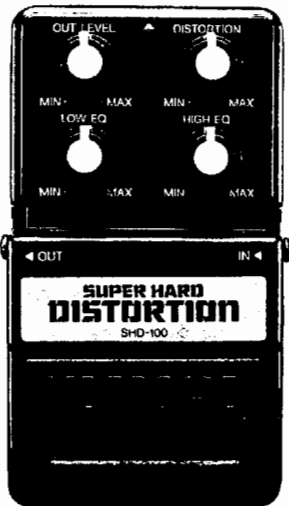
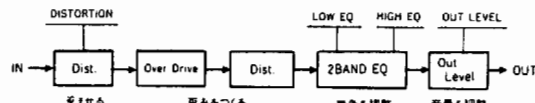
SHD-100 ¥9,500(税抜き)

MM ディストーション系

超過激な歪みワールドへと導くビッグ・パフォーマンズ。

SHD-100は、プレイヤーのイメージ通りの歪みを余裕で表現。歪みを創った後に、音色、音量を調整する理想的な回路構成により、地鳴りのような重低音から、突き刺すような超高音までレンジの広いディストーション・サウンドはまさに“スーパーハード”。ハードロック、スラッシュメタルはもちろん、ビート系、ファンク系など音楽ジャンルをワイドに網羅。インパクトある歪みを求めるギタリストの期待にパーフェクトに応えます。

SHD-100 FORMATION



SHD-100 COMMAND

- OUT LEVEL:エフェクトON時の最終的な音量を設定します。
- DISTORTION:歪みの強さを調整します。MAX側に回すと歪みの強さが増し、音の伸びが長くなります。
- HIGH EQ:高域音色を調整します。MAX側に回すと高域がブーストされ、MIN側に回すと低域がカットされます。
- LOW EQ:低域音色を調整します。MAX側に回すと低域がブーストされ、MIN側に回すと低域がカットされます。

SPECIFICATIONS

- 定格入力:-20dBm ● 定格出力:-20dBm ● ファンクション:OUT LEVEL, DISTORTION, LOW EQ, HIGH EQ ● 端子:INPUT, OUTPUT ● 消費電流:14mA (DC 9V) ● 電源:9V乾電池[S-006P(N)]*オプション:ACアダプター(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

SOUND INSTRUCTION

アメリカン・ロックに合うディストーション

①のように、DISTORTIONを少しMAX側に、LOW EQをMAX側に、HIGH EQを中央にセットすると、SHD特有の乾いたレンジの広いディストーション・サウンドが得られます。DISTORTIONは押え気味でも、シリアル接続されたオーバードライブ回路とディストーション回路により乾いたキメ細かい歪みが生まれます。ピッキングのアタック感も適度に再現されますから、スケールの大きいコードリフにもよくマッチします。

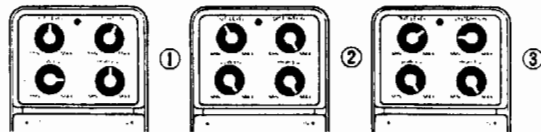
ドンシャリのハードディストーション

②のように、DISTORTION、LOW EQ、HIGH EQを全てMAXにセットすると、SHD-100ならではの、極めて超過激なスラッシュメタルサウンドが得られます。特にLOW EQによる低域のブーストは、大型スタック・アンプの地鳴りにも似た低音の厚みを最現します。低域をブーストしてもブーミーにならず安定感のあるサウンドをキープ、高域のブーストはハイポ

ジションのソロプレイやピッキング・ハーモニクスを強烈にアピールします。超過激な歪みを求めるプレイヤーに最適でしょう。なお、LOW EQ、HIGH EQのブーストにより音量が上がりますから、OUT LEVELを少し絞って適正レベルに設定してください。

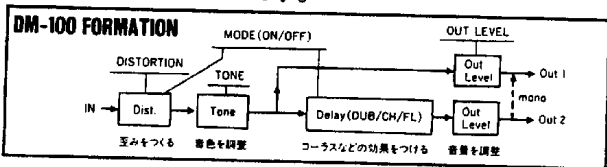
ソリッドかつタイトなクランチサウンド

③のようにDISTORTIONを押え気味に、LOW EQ、HIGH EQをそれぞれMAXにセットすると、レンジが広く、大変硬質なクランチサウンドが得られます。ビートのコードワークから、ファンク系のカッチングまで、様々なプレイに適用できます。DISTORTIONのゲインの幅が大変広いので、MINに絞り込めばほとんどクリーンなサウンドもクリエイトできます。コンプレッション回路を使っていないのでDISTORTIONを下げても音量の下った分はOUT LEVELを上げて補正して下さい。



変幻自在なエフェクト機能が、マルチなギターサウンドをプロデュース。

DM-100は、1台で6モードものエフェクト・サウンドを創出。MODEのセッティングにより、ディストーション、ディストーション+ダブリング、ディストーション+コーラス、ディストーション+フランジャー、コーラス、フランジャーとサウンドメイクは自由自在。さらに、ディストーション以外のMODEでは、より拡がりのあるステレオ出力が可能。最初の1台としてベストチョイスなマルチエフェクターです。



DM-100 COMMAND

- MODE:6種類の効果を選びます。
- TONE:音色を調整します。MAX側に回すと高域をブーストし硬い音に、MIN側に回すと低域をブーストし柔らかい音になります。
- DISTORTION:歪みの強さを調整します。MAX側に回すと歪みの強さが増し、音の伸びが長くなります。
- OUT LEVEL:エフェクトON時の最終的な音量を設定します。右に回すほどレベルが上がり、ON/OFF時の音量バランスを調整してください。

SPECIFICATIONS

- 定格入力:-20dBm ●定格出力:-20dBm
- LFO 周波数:0.95Hz (Chorus), 0.66Hz (Flanger)
- デレイタイム:7ms-25.6ms ●ファンクション:MODE, TONE, DISTORTION, OUT LEVEL
- 端子:INPUT, OUTPUT×2 ●消費電流:50mA (DC 9V) ●電源:9V乾電池 (S-006P (N)) *オプション:ACアダプター (AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

SOUND INSTRUCTION

ディストーション^αでひと味違うサウンド

①のように、MODEをDIS+DUB/DIS+CH/DIS+FLのどれかにセットすると、それぞれディストーションサウンドにダブリング/コーラス/フランジャーの効果がプラスされて出力されます。ダブリングは原音よりわずかに遅れた音(ショートディレイ)をプラスして音に厚みを加える効果、コーラスは原音にショートディレイを揺らしたものを加えて厚みを加える効果、フランジャーはコーラスと似ていますがよりウネリの強い効果です。通常はOUT 1にプラグを接続しますが、ギター・アンプを2台使って③のように接続すれば、OUT 1からはノーマルなディストーションサウンドが、OUT 2からはそのショートディレイが出力され、2つのショートディレイが出力されて、2つのAmpからの音が空間で合成されて、大変美しい拡がりのあるステレオ効果が生まれます。この時、2つのアンプはなるべく同機種のもので、同じセッティングで使った方が効果的です。

なお、MODEをDISにセットした時は、シンプルなディストーションとなります。

この時、OUT 1とOUT 2は同じ音が出力されモノラルになります。

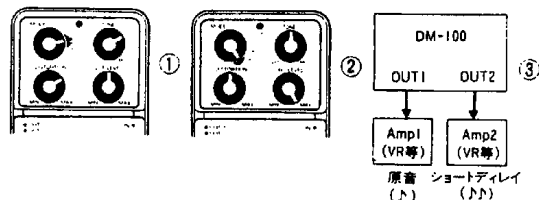
コーラスやフランジャーの効果より強く出す為にはTONEをMAX方向に回すと良いでしょう。

コーラス/フランジャーとして使用

②のように、MODEをCHかFLにセットすると、シンプルなコーラス/フランジャーとして機能します。効果をはっきりさせるためにTONEをMAX方向に回しても良いでしょう。OUT LEVELはMAXにセットすると、エフェクトON/OFF時の音量差がなくなります。OUT 1とOUT 2に2台のアンプをつないだ場合、OUT 1からは原音が、OUT 2からは揺れのあるショートディレイが出力されます。

MTRのミキサーに接続してステレオ録音する場合、OUT 1/OUT 2を左右一杯に振り分けるより、少し中央に寄せた方がより厚みが増します。

■なお、DM-100は他のSDSシリーズに比べて消費電流が比較的大きいので長時間の使用にはACアダプターを使用して下さい。



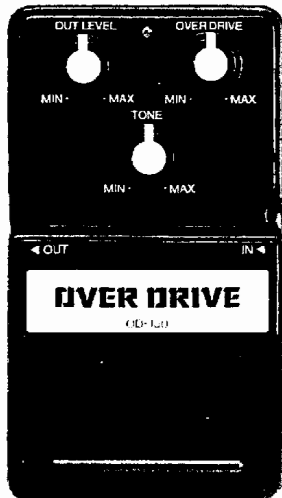
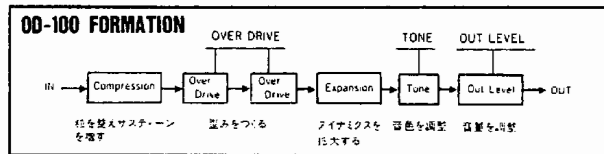
オーバードライブ

OD-100 ¥8,500(税抜き)

MM オーバードライブ系

原音を生かしたナチュラルな歪みとロングサステーンを実現。

OD-100は、チューブアンプ特有のマイルドなオーバードライブ・サウンドとロングサステーンを実現。ギターからの入力信号を歪ませる前に、コンプレッサー回路を通し、十分なサステーンを確保。その後、入力レベルの大小に対応した2つのオーバードライブ回路によってストレスなく豊かな歪みサウンドを創造、さらにエキスパンダー回路がノイズを除去。暖かみのあるサウンドを好むギタリスト必携の1台です。



OD-100 COMMAND

- OUT LEVEL: エフェクトON時の最終的な音量を設定します。右に回すほどレベルが上がります。ON/OFF時の音量バランスを調整してください。
- OVER DRIVE: 歪みの強さを調整します。MAX側に回すと歪みの強さが増し、音の伸びが長くなります。
- TONE: 音色を調整します。MAX側に回すと高域をブーストし鋭い音に、MIN側に回すと低域をブーストし柔かい音になります。

SPECIFICATIONS

- 定格入力: -20dBm at 1kHz ● 定格出力: -20dBm at 1kHz ● トーンコントロール (TONE): ±6dB at 2kHz ● ゲインコントロール (OVER DRIVE): 30dB at 1.3kHz ● クリップ比: 70% ● 入力: 0dB, @0dB = 775mV, OVER DRIVE at center ● フังก์ション: OUT LEVEL, OVER DRIVE, TONE ● 端子: INPUT, OUTPUT ● 消費電流: 16mA (DC 9V) ● 電源: 9V乾電池 [S-006P(N)] ● オプション: ACアダプター (AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

SOUND INSTRUCTION

OVER DRIVEとTONEの設定で、OD-100は様々なニュアンスのオーバードライブ・サウンドをクリエイティブします。

滑らかで伸びのあるドライブ・サウンド

①のようにOVER DRIVEをMAX方向に回して強めに歪ませ、TONEを中央にセットします。OD-100は柔かい歪みのニュアンスですから、あらゆるタイプのアンプにスムーズにマッチします。ですから、クリーンなドライブサウンドをつくる際にも、それほどTONEのコントロールに神経質になる必要はないでしょう。OUT LEVELでON/OFF時の聴感上のバランスが同等になるようにセットします。ハムバッキングPUなら①のあたりシングルコイルPUならもう少し絞っても良いでしょう。ソロでグッとヴォリュームアップさせたい時はもっと上げても構いません。

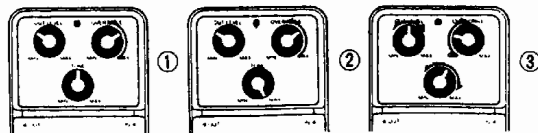
マイルドなクランチ・サウンド

②のように、OVER DRIVEを控え目に、TONEを少しMAX側にセットします。OD-100独特のチューブアンプをわざわざドライブさせたようなクランチサウンドです。コンプレッション回路のため、歪みがわずかでも良く伸びる独特のトーンですから、フュージョン等で伸々としたロングトーンを使ったソロにも良くマッチしま

す。TONEをMIN側にセットし、ギターヴォリュームを絞れば、わずかに歪んだマイルドなジャズに向くトーンも出せるでしょう。また、OD-100の前に、さらにディストーションやオーバードライブを接続し、②のセッティングをすれば、よりナチュラルなディストーション/オーバードライブ・サウンドを出力することができます。これも、フレキシブルな歪みメイク能力をもつOD-100ならではのパフォーマンスといえるでしょう。

プリアンプ、ブースターとしての使用

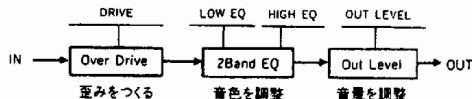
③のように、OVER DRIVEを控え目にセットし、オーバードライブさせたチューブアンプ等に接続します。アンプ側の歪みのニュアンスを強く出して、より深く歪ませる場合には、OUT LEVELを上げ、OVER DRIVEを下げます。OD-100の歪みのニュアンスを強く出してより深く歪ませる場合には、OUT LEVELを下げ、OVER DRIVEを上げます。一般にTONEは、ブーストするよりカットする方がナチュラルな感じが出せるでしょう。使用するアンプのセッティングとのコンビネーションで、多彩なオーバードライブ・サウンドが作れますから、OD-100とアンプの様々なセッティングで試してみてください。



切れ味鋭いチューブアンプのドライブ サウンドを再現。

BD-100は、コシのあるアタッキーな歪みをクリエイト。エッジの効いた独特のキャラクターを持つオーバードライブ回路は、特に、切れがよく、レンジの広いドライブサウンドにおいて実力を発揮します。コードカッティングにおいては、アタック感を損なうことなく、コード本来の響きを確実にキープ。ピッキングにおいても、微妙なニュアンスにまでエフェクト。そのサウンドは、常にBD-100ならではのブライトな個性に満ちています。

BD-100 FORMATION



BD-100 COMMAND

- **OUT LEVEL:**エフェクトON時の最終的な音量を設定します。右に回すほどレベルが上がります。ON/OFF時の音量バランスを調整して下さい。
- **DRIVE:**歪みの強さを調整します。MAX側に回すと歪みの強さが増し、音の伸びが長くなります。
- **HIGH EQ:**高域音色を調整します。MAX側に回すと高域がブーストされ、MIN側に回すと高域がカットされます。
- **LOW EQ:**低域音色を調整します。MAX側に回すと低域がブーストされ、MIN側に回すと低域がカットされます。

SPECIFICATIONS

●定格入力:-20dBm at 1kHz ●定格出力:-20dBm at 1kHz ●ファンクション:OUT LEVEL, DRIVE, LOW EQ, HIGH EQ ●端子:INPUT, OUTPUT ●消費電流:6mA (DC 9V) ●電源:9V乾電池[S-006P(N)]*オプション:ACアダプター(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

SOUND INSTRUCTION

歯切れの良いチューブアンプのサウンド

①のように、DRIVEを若干MAX側に、LOW EQは少しMAX側へ回し低域をブースト、HIGH EQは少しMIN側へ回し高域をカットします。独自の歯切れの良いオーバードライブ回路により、ハイエンドが強めに聞こえるためEQで音色調整しておくが必要です。このセッティングは、コードカッティングしてもアタック感やコードの響きを損わないナチュラルなオーバードライブサウンドです。特に低音域の歪みは、これまでのデバイスでは得られなかった歯切れの良さや芯の太さを両立したものです。ピッキングのニュアンスも忠実に歪みになって再現される点を注目して下さい。

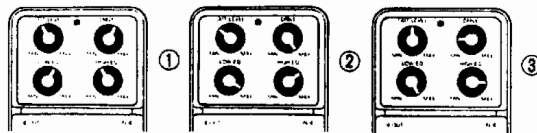
レンジ感が広く張りのあるサウンド

②のように、DRIVEをMAXに、LOW EQはMAX近くに、HIGH EQは少しMAX側にセットします。BD-100特有のエッジをHIGH EQで少し強調し、ローエンドをLOW EQでより強くブーストする事で、BDならではの、切れの良いレンジの広いドライブサウンドが得られます。コンプレッション回路が無い分、アタックからサステインへとナチュラルに歪みが

変化しますから、ピッキングの強弱からハンマリングやプリングのニュアンスまでを忠実にドライブサウンドに変換します。また、テンションコードなどをフルに弾いても各弦の音はしっかり響き、美しいコード感をキープします。OUT LEVELは、EQによってレベルアップした分絞りまみにセットすると良いでしょう。

どこまでも切れの良いクランチサウンド

③のようにDRIVEをMIN近くに、LOW EQをMAXに、HIGH EQをMAX側にセットします。数多くの歪み系デバイスの中でも、このようなセッティングのBD-100ほど切れ味が良くワイドレンジなクランチサウンドは、他に類を見ないほどです。よりアグレッシブでトレブリーなサウンドが欲しければHIGH EQを更にブースト、ウォームなサウンドが欲しければHIGH EQをMIN側にセットして下さい。なお、BD-100は独自の歪み回路を生かす為にコンプレッション回路を使っていないため、DRIVEを下げれば音量も下がるという性格を持っています。DRIVEをMAX側に回したらOUT LEVELを下げ、MIN側に回したらOUT LEVELを上げて、随時適正なレベルをキープするように注意して下さい。



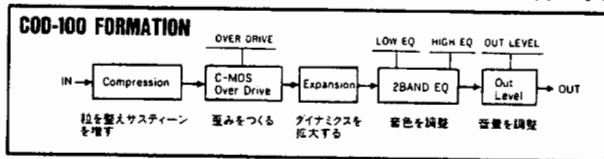
C-MOSオーバードライブ

COD-100 ¥8,500(税抜き)

MM オーバードライブ系

C-MOS回路ならではの、ローノイズな チューブアンプの歪みをシミュレート。

COD-100は、C-MOS素子を採用し、回路構成からチューブアンプの歪みをシミュレート。ピッキングの強弱や抑揚を忠実に表現しながら、迫力あるオーバードライブサウンドを創出。ローからハイヴォリュームまでの一定した歪み感、C-MOSならではの特徴です。さらに、コンプレッション、エキスパンド回路の採用により、ロングサステーン、ローノイズも実現。ビッグチューブ・アンプのイメージを再現する絶好の1台です。



COD-100 COMMAND

- OUT LEVEL:エフェクトON時の最終的な音量を設定します。右に回すほどレベルが上がります。ON/OFF時の音量バランスを調整して下さい。
- OVER DRIVE:歪みの強さを調整します。MAX側に回すと歪みの強さが増し、音の伸びが長くなります。
- HIGH EQ:高域音色を調整します。MAX側に回すと高域がブーストされ、MIN側に回すと高域がカットされます。
- LOW EQ:低域音色を調整します。MAX側に回すと低域がブーストされ、MIN側に回すと低域がカットされます。

SPECIFICATIONS

●定格入力:-20dBm ●定格出力:-20dBm
トーンコントロール(TONE):LOW EQ±8dB at 120 Hz, HIGH EQ±8dB at 5kHz ●ゲインコントロール(OVER DRIVE):30dB at 1.3kHz ●クリップ比:70%, 入力0dB, @0dB=775mV, OVER DRIVE at center ●ファンクション:OUT LEVEL, OVER DRIVE, LOW EQ, HIGH EQ ●端子:INPUT, OUTPUT ●消費電流:32mA(DC 9V) ●電源:9V乾電池[S-006P(N)] ●オプション:ACアダプター(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

SOUND INSTRUCTION

程良く歪んだチューブアンプのサウンド

①のように、OVER DRIVEを中央に、LOW EQ, HIGH EQをそれぞれ若干ブーストしたセッティングでは、C-MOS回路ならではの、ナチュラルなオーバードライブ・サウンドです。同じ歪み感でもノイズが少なく感じられるのはゲインが低くても歪み感が充分得られるC-MOS回路の特徴です。EQは、それぞれ若干ブーストする事で、チューブアンプのような音の張りを与えます。OUT LEVELは、①のあたりでエフェクトON/OFF時のレベルバランスが合うでしょう。シングルコイルPUの時は、少し絞った方が良いでしょう。

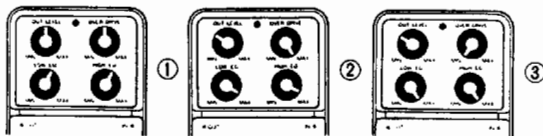
チューブアンプをフルブーストしたサウンド

②のようにOVER DRIVEをMAXに、LOW EQ, HIGH EQをそれぞれMAX近くにセッティングすると、チューブ・ビッグ・スタック・アンプをフルにドライブさせたような迫力あるオーバードライブ・サウンドが得られます。C-MOS回路のため、深い歪みでもピッキングのニュアンスを残し、フルコード

を弾いてもコード感が失われない点もチューブアンプ並みです。EQのため音量が上がりますから、OUT LEVELは若干抑えた方が良いでしょう。また逆にLOW EQ, HIGH EQをMIN側にセットして中域のオーバードライブ・サウンドにする時で、音量が下がった分はOUT LEVELを若干上げて調整して下さい。

ワイドレンジなクランチサウンド

③のようにOVER DRIVEをMINに、LOW EQ, HIGH EQをそれぞれMAXにセッティングすると、従来のオーバードライブ・ユニットとは大きくニュアンスの違った、レンジ感の広いクランチサウンドが得られます。コンプレッションは控え目にセットしてありますから、弱くピッキングすればクリーン、強くピッキングすればアタックが歪む、というようにピッキングのニュアンスを忠実に再現してくれます。これらのセッティングの他にも、チューブアンプ等のブリッドライブとして使用すれば、4つのつまみで様々な歪みのニュアンスをクリエイティブに出来すから、ぜひ試して下さい。

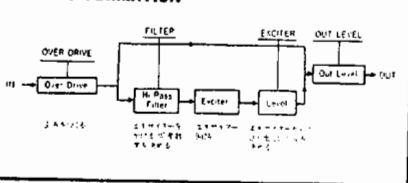




斬新なコンセプトにより、ナチュラルかつ微妙な歪みをコントロール。

ODE-100は、ピッキング・レスポンスを徹底追求し、艶やかで腰のあるオーバードライブサウンドを実現。エキサイター回路により倍音の強調を行うため、最小限の歪みでも、存在感のあるサウンドを表現します。また、MTR等にダイレクトに入力した場合も音ヌケの良さは抜群。チューブアンプとのマッチングにも優れ、クオリティの高いオーバードライブ・サウンドを出力。あらゆる場面で実力を発揮するデバイスです。

ODE-100 FORMATION



ODE-100 COMMAND

- OUT LEVEL: エフェクトON時の最終的な音量を設定します。
- OVER DRIVE: 歪みの強さを調整します。MAX側に回すと歪み強さが増し、音の伸びが長くなります。
- FILTER: エキサイター回路にどの周波数帯から上を送るかを決めます。LO側に回す中域から上を、HI側に回すと高域から上を送ります。EXCITERがMINにセットしてあると音色は変化しません。
- EXCITER: 倍音を強調してメリハリを加え、音を前に出す効果のあるエキサイター回路を通った信号を、どのくらいミックスするか調整します。MAXで最大、MINで最小(0)になります。

SPECIFICATIONS

- 定格入力: 20dBm ● 定格出力: -15dBm ● ファンクション: OUT LEVEL, OVER DRIVE, FILTER, EXCITER ● 端子: INPUT, OUTPUT ● 消費電流: 25mA (DC 9V) ● 電源: 9V乾電池 [S-006P(N)] ● オプション: ACアダプター (AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

SOUND INSTRUCTION

エキサイターを効かせたドライブサウンド

①のようにOVER DRIVEを少しMAX側に、FILTERとEXCITERを中央にセットすると、ODE-100ならではの、ナチュラルで腰のあるオーバードライブサウンドが得られます。トーンコントロールやEQによる音色補正と違い、エキサイターによる倍音のため、芯の太い歪みが得られ、音がグツと前に出てきます。EXCITERをMAX方向に回すほど音の芯が増し、追ってくるような効果が生まれることが実感できるはずです。

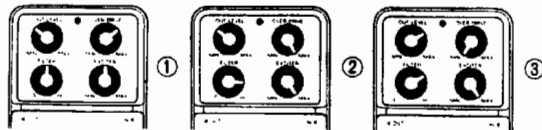
艶やかで伸びのあるドライブサウンド

②のように、OVER DRIVEをMAXに、FILTERをHI側に、EXCITERをMAXにセットすると、エキサイターの効果を100%生かした、中高域に独特のツヤを持つオーバードライブ・サウンドを出力。使用するギターや好みのサウンドによってFILTERの設定を調整すれば、多彩なニュアンスをクリエイトできます。また、このセッティングでは、MTRなどにダイレクトに接続しても従来のオーバードライブと比べ格段の張り腰のあるオーバードライブ・サウンドが得られます。EQとオーバードライブの組み合わせでは得られ

なかった、チューブアンプ独特のサウンドキャラクターと言えるでしょう。

わずかな歪みで存在感のあるカッティング

③のように、OVER DRIVEをMINに、FILTERを若干HI側に、EXCITERをMAXにセットすると、単音ではほとんど歪みず、力強いコードストロークの時に少したけクリップする張りのある音が得られます。ちょうどチューブアンプでブライトスイッチをONにした時のシャリッとしたニュアンスで、ファンキーなコードカッティングや、コーラスの似合うアルペジオ等にピッタリのサウンドです。コンプレッション回路が無いので歪みは最少限に抑えられ、エキサイターがチューブアンプのように高域倍音を強調しているためです。②のセッティング同様に、MTRなどにダイレクトに接続すれば、コンプレッサーやEQによる処理とは全く違ったナチュラルなチューブアンプのシミュレートとしても活用できるでしょう。なお、ODE-100はナチュラルなアタック感を得るためにコンプレッション回路を使っていませんから、OVER DRIVEを下げれば音量も下がってしまいます。OUT LEVELで適正なレベルをキープするように注意して下さい。



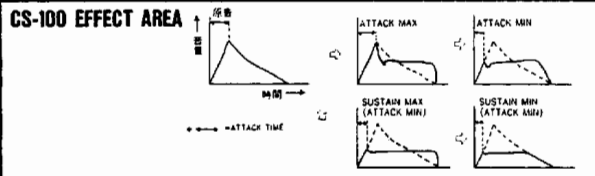
コンプレッサー/サステイナー

CS-100 ¥9,500(税抜き)

MM シンク系

スピーディなピッキングにも追従する新 世代コンプレッション。

CS-100は、幅広いコンプレッション効果を圧巻のレスポンスで実現。速弾きやスピーディなカッティングにおいても、一音一音のアタック感をクリアーに表現することができます。サステインのコントロールも、極めてフレキシブル。ローノイズ設計も万全です。アタックとサステインの微妙なバランスにこだわる、センシティブなギタリストに贈るニューデバイスです。



CS-100 COMMAND

- OUT LEVEL: エフェクトON時の最終的な音量を設定します。右に回すとレベルが上がります。ON/OFF時の音量バランスを調整してください。
- ATTACK: ピッキング時のアタックの強さを調整します。MAX側に回すとアタック音が強調されます。
- SUSTAIN: 音をどのくらい伸ばすかを調整します。MAX側に回すと音の伸びが長くなります。
- TONE: 音色を調整します。MAX側に回すと高域をブーストし硬い音に、MIN側に回すと低域をブーストし柔かい音になります。

SPECIFICATIONS

- 定格入力:-20dBm ●定格出力:-20dBm ●ファンクション:OUT LEVEL, ATTACK, SUSTAIN, TONE ●端子:INPUT, OUTPUT ●消費電流:15mA(DC 9V) ●電源:9V乾電池[5-006P(N)]*オプション:ACアダプター(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

SOUND INSTRUCTION

CS-100は、ATTACKをMAX方向に回すと、信号がスレッシュド・レベルまで下った後、コンプレッションを止めるまでの時間が速くなり、MIN側に回すと遅くなるように設計されています。これにより、従来のコンプレッサーのようにATTACKをMAXにセットしても素早いピッキングで次の音のアタックにコンプレッションがかかってしまう事がなくなり、速弾きでも一音一音のアタック感をはっきり出すことができます。

このため、従来のコンプレッサーに比べ、セッティングの自由度が高まりました。

ブライヴなサステインのリード・トーン

①のように、ATTACKをSUSTAINをMAX近くに、TONEを少しMAX側にセットします。このセッティングでは、アタック感が充分で、ブライヴなサステインのあるリード・トーンが得られます。コンプレッションからの戻りが最も速いセッティングでもありますから、スピーディなピッキングでも一音一音のアタックがくつきり前に出てきます。

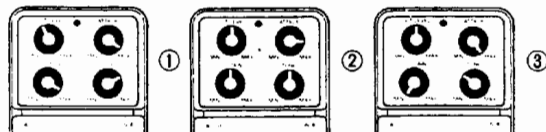
また、ATTACKをMIN近くにセットした場合は、コンプレッションからの戻りが遅くなりますから、深いリミッターのようなアタックと、どこまでも伸びるサステインが得られ、スローなフレージングやアルペジオに向いたサウンドになります。

カッティングの粒を整えるコンプレッション

②のように、ATTACKをMAX側にSUSTAINを中央にセットすると、コード・カッティングの音量のバラつきを整えてタイトなサウンドに仕上げるセッティングになります。コンプレッションからの戻りが速いことから、SUSTAINを弱めにセットする事でリミッターに似た高級感のあるリズム・サウンドが得られるでしょう。出力の大きいギターを使う時やピッキングの強いプレイヤーはSUSTAINを更にMIN側に回して下さい。OUT LEVELでSUSTAINによる音量変化を補正します。

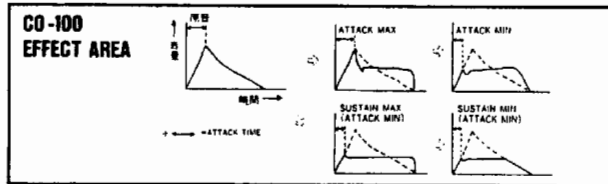
チューブアンプのブースターとしての使用

③のように、ATTACKをMAX一杯に、SUSTAINをMIN一杯にセットすると、コンプレッションの効果は最少になります。CS-100の次に歪み系エフェクター(ODE-100, BD-100などコンプレッション回路を内蔵していないもの)、フルアップさせたチューブアンプ等を接続すると、同じ歪みの深さでもより粘りサステインのあるサウンドが得られます。TONEは少しMIN側にセットした方が自然でしょう。より深い歪みか欲しい時は、OUT LEVELを上げてもOKです。



高性能フォトカプラーが生むあくまでクリアーなロングサステーン。

CO-100は、サウンドを歪ませることなくナチュラルなサステーンを創出。トーンコントロール回路により、従来のコンプレッサーにありがちだった音のこもりを追放します。高性能フォトカプラー採用のノイズレスコンプレッション回路とのコンビネーションで、極めてクリアーなロングサステーンを獲得。レコーディングレベルのエフェクトクオリティを確保します。



CO-100 COMMAND

- OUT LEVEL:エフェクトON時の最終的な音量を設定します。右に回すほどレベルが上がります。ON/OFF時の音量バランスを調整して下さい。
- ATTACK:ピッキング時のアタックの強さを調整します。MAX側に回すとアタック音が強調されます。
- SUSTAIN:音をどのくらい伸ばすかを調整します。MAX側に回すと音の伸びが長くなります。
- TONE:音色を調整します。MAX側に回すと高域をブーストし、硬い音に。MIN側に回すと低域をブーストし、柔らかい音になります。

SPECIFICATIONS

- 定格入力:-20dBm ●定格出力:-20dBm ●アタックタイム:10msec (ATTACKmin) ~ 130msec (ATTACKmax) ●リリースタイム:140msec (ATTACKmin) ~ 0.6sec (ATTACKmax) ●最大圧縮比:25dB 入力+3dB, @0dB=775mV ●ファンクション:OUT LEVEL, ATTACK, SUSTAIN, TONE ●端子:INPUT, OUTPUT ●消費電流:22mA (DC 9V) ●電源:9V乾電池(S-006P(N)) ●オプション:ACアダプター(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

SOUND INSTRUCTION

充分なアタック感とロング・サステーンのあるリード・サウンド

①のように、ATTACKをMAX一杯に、SUSTAINをMAX側にセットし、スピーディなピッキングにもアタックが忠実に再現され、ロング・トーンには力強いサステーンが得られるようにすると、クリーンサウンドで、アタックとサステーンの両方を備えた抜群のリード・トーンが得られます。TONEを少しMAX側にセットしてフィンガリング・ニュアンスをより前面に出すと良いでしょう。

このセッティングではアタック感は原音のまま、サステーンは原音より強調される事になりますから、トータルには音量感が増します。OUT LEVELを少し下げても良いかも知れません。

リズムカッティングの粒を揃え、ダイナミクスも残したサウンド

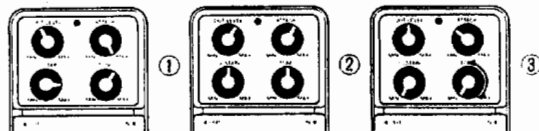
②のように、ATTACKを少しMAX側に、SUSTAINを中央にセットし、アタックを少し削り、サステーンを少し増すようにします。SUSTAINは、どのレベルより大きい信号にコンプレッションをかけた

るかを決めるもので、MAX方向に回せばそのレベル(スレッシュホールド・レベルと言います)は低く、MIN方向に回せば高くなります。ピッキングの強いプレイヤーならSUSTAINをMIN方向に、弱いプレイヤーならMAX方向に回して適正な効果を調整して下さい。

なお、シングルコイルPUのギターならTONEは中央付近が、ハムバッキンぐPUのギターならTONEを少しMAX側に回すと良いでしょう。OUT LEVELはSUSTAINのセッティングにより最適なレベルに合わせます。

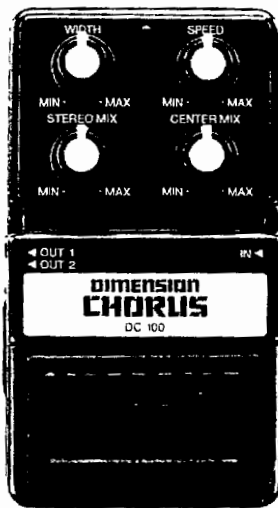
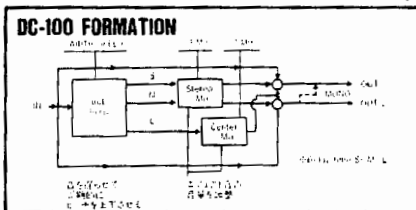
ジャズのソロに向くマイルドなリード・トーン

③のように、ATTACKを少しMIN側に、SUSTAIN&TONEをMIN一杯にセットします。アタック感を削り、フレーズのダイナミクスはSUSTAINを弱める事で得るこのセッティングは、ジャズのソロにピッタリの、大変マイルドでナチュラルなリード・トーンが得られます。PUはフロント・ポジションを使います。ホロウ・ボディのギターなら、TONEをMAX方向に少し上げて良いでしょう。



コンパクトタイプ初の3相コーラスが、かつてないエフェクトを演出。

DC-100は、3相(トライ)コーラスの実現により、かつてない幅と深みと厚みのある“ディメンション効果”をプロデュース。遅延時間の異なる3波のエフェクト音を、センター、レフト、ライトに振り分けて出力。全音域に渡ってワイドな効果を実現しています。モノラル出力においても、比類なきディメンション効果はそのまま。ギタリストのイメージーションを刺激する、まったく新しいシステムを持つサウンド・ユニットです。



DC-100 COMMAND

- WIDTH:効果の深さ(エフェクト音のピッチ変化の上下幅)を調整します。MAX側に回すと深く(ピッチ幅が大き)くなります。
- SPEED:効果の速さ(エフェクト音のピッチ変化の速さ)を調整します。MAX側に回すとピッチ変化のテンポが速くなります。
- STEREO MIX:コーラス効果が高域に強くなった左右のエフェクト音の音量を調整します。MAX側に回すと効果が増します。
- CENTER MIX:コーラス効果が低域に強くなった中央のエフェクト音の音量を調整します。MAX側に回すと効果が増します。

SPECIFICATIONS

- 定格入力:-20dBm ●定格出力:-20dBm ●デレイタイム:デレイS/4.6ms~8.6ms、デレイM/6.0ms~11.2ms、デレイL/7.6ms~14.4ms ●ファンクション:WIDTH, SPEED, STEREO MIX, CENTER MIX ●端子:INPUT, OUTPUT1, OUTPUT2 ●消費電流:25mA(DC 9V) ●電源:9V乾電池[S-006P(N)]*オプティオン:ACアダプター(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

SOUND INSTRUCTION

DC-100は1in2out仕様ですから、ステレオアウトとして使用した時に最も美しいコーラス効果が得られますが、モノラルアウトでも充分なコーラス効果が得られます。その際、OUT1のみコプラグを接続すると原音と3つのエフェクト音が全て出力され、OUT2のみにプラグを接続すると、原音と遅い方から2つのデレイ音(MとL)が出力されます。通常はOUT1に接続して下さい。

ステレオ、モノラルどちらの場合も、3つ(2つ)のエフェクト音のミックス次第で、従来のコーラスとは格段に違った厚みと拡がりのあり、しかもナチュラルな深みを持つコーラスが得られます。

3つの揺れを程良くブレンドしたリッチなトーン

①のように、WIDTHをMAX側にSPEEDは控え目にセットし、ST. MIXをMAX側に、CT. MIXはそれより若干少なめにセットします。このセッティングでは、中央のデレイタイムの遅い(低域のウネリの強い)エフェクト音を、左右のデレイタイムの速い(高域のウネリの強い)キラキラとしたエフェクト音が程良くブレンドされ、CS-100ならではのリッチなコーラスサウンドが得られます。3つのエフェクトそれぞれの揺れが複雑にMIX

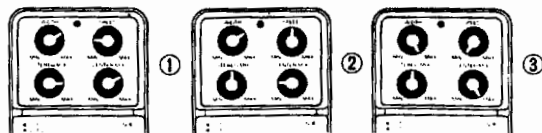
されますから、これまでにない厚みのあるトーンです。スローなアルペジオに最適です。

左右の拡がり感と深みを生むサウンドメイク

②のように、WIDTHをMAX側に、SPEEDを中央にセットし、ST. MIXを中央に、CT. MIXを控え目にセットすると高域に効果の強かった左右のコーラスが前面に出て、低域に効果の強かった中央のコーラスが、サウンドに深みをプラスしたさらびやかなコーラスサウンドになります。コードカッティング等、ミディアム以上のテンポでのプレイに向いています。

ディストーション・サウンドを生かすセッティング

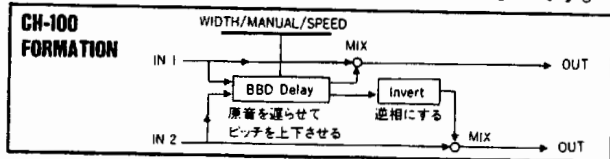
③のように、WIDTHをMAX一杯に、SPEEDをMIN一杯にセットし、ST. MIXをMAX一杯に、CT. MIXをMAX一杯にセットすると、揺れのほとんどないぶ厚いダブリングに似たコーラスが得られます。左右のコーラスが高域感をプラスしますからサウンドの厚みに不自然さはありません。ディストーション・サウンドでの低音のコードやリフに向けたコーラス・サウンドと言えるでしょう。





2048段BBD採用により、かつてない音

CH-100は、柔らかな音の厚みと拡がり感を創造。コーラス効果の核となるBBD素子に、一般の2倍の段数を持つ2048段タイプを採用し、より深みと厚みのあるエフェクトを実現しています。INPUT、OUTPUTはともにステレオ仕様。入力信号のステレオ感とコーラス回路の相乗効果が、かつてない立体的な音場をクリエイト。特に、MANUALをMINにセットしたときのファットな臨場感は、CH-100ならではのものです。



CH-100 COMMAND

- WIDTH:効果の深さ(エフェクト音のピッチ変化の上下幅)を調整します。MAX側に回すと深く(ピッチ変化が大き)くなります。
- SPEED:効果の速さ(エフェクト音のピッチ変化の速さ)を調整します。MAX側に回すとピッチ変化のテンポが速くなります。
- MANUAL:効果を強くかける音域を調整します。MAX側に回すと高域、MIN側に回すと低域での音色変化が得られます。(デレイタイムをコントロール:MIN=23msec~MAX=5msec)

SPECIFICATIONS

- 定格入力:-20dBm ●定格出力:-20dBm ●デレイタイム(MANUAL):23msec(MIN)~5msec(MAX) ●モジュレーションスピード(SPEED):0.1Hz~3Hz ●ファンクション:WIDTH, SPEED, MANUAL ●端子:INPUT×2, OUTPUT×2(STEREO OUT) ●消費電流:40mA(DC 9V) ●電源:9V乾電池[S-006P(N)] ●オプション:ACアダプター(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

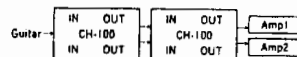
の拡がりと厚みを創造。

SOUND INSTRUCTION

中高音域の揺れが美しいコーラス

①のように、WIDTH、SPEEDを少しMAX方向に、MANUALはMAX側にセットすると中音域から高音域の効果が強調された美しいコーラス・サウンドが得られます。従来のコーラスのようにむやみにハイ・エンドを強調せずに、2048段BBD回路により中低域まで効果がかかりますから、低域から高域までナチュラルな響きです。ギターロー・ポジションからハイ・ポジションまでのコード・ストロークやアルペジオに忠実にコーラスが加わる点はCH-100ならではのようです。

CH-100はステレオイン/ステレオアウト仕様ですが、モノイン/モノアウト、モノイン/ステレオアウトとしてももちろん使用できます。2つのOUTから2台のアンプに接続すれば空間でコーラス効果が再現され大変美しいサウンドをクリエイトできますからぜひ試してみてください。また、他のステレオエフェクトの出力を2つのINに接続すればステレオエフェクトの効果を生かした上で、CH-100のステレオコーラスをかけることができます。2台のCH-100を図のようにシリーズ接続するというリッチなステレオコーラスも考えられます。



揺れの少ないダブリング的コーラス

コーラスは、ショート・デレイのピッチを周期的に上下させ原音をMIXする事で得られる効果ですが、このピッチの周期を遅くしたり、上下幅を小さくすれば、原音をショート・デレイとのミックス(=ダブリング)と同様の効果が得られます。

②のように、WIDTH、SPEEDを控え目にし、MANUALをMIN一杯に(デレイタイムを最大に)セットすると、ダブリングとコーラスの中間のニュアンスの、厚みのあるサウンドが得られます。クリーンなアルペジオに響みを加え、デレイタイムのリフやソロにかければ、重厚なサウンドになりヘビーな感じも出せるでしょう。

ビブラート・サウンド

③のように、WIDTHをMAX一杯にセットし、SPEEDをMAX方向に回していくとヴィブラート効果が得られます。ヴィブラートのピッチの上下幅はWIDTHでコントロールできますが、SPEEDをある程度上げておくのがポイントでしょう。



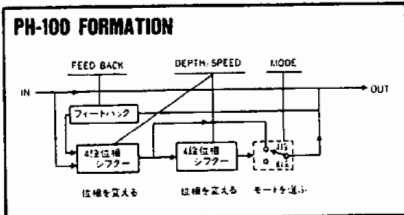
フェイズシフター

PH-100 ¥12,000 (税抜き)

ヤマハ系

2種類のフェイズキャラクターがオールディなテイストまでもカバー。

PH-100は、個性的なフェイズシフト・サウンドをフレキシブルにコントロール。素子を厳選し、ワイドな周波数特性を獲得。あらゆる音域において、ダイナミックなフェイズシフト効果を発揮します。また、曲調や、接続する楽器に合わせてエフェクトのキャラクターを選択可能。FEED BACKで深さのコントロールもできるので、ミュート奏法、アルペジオに求められるオールディなトーンも余裕でカバーします。



PH-100 COMMAND

- DEPTH: 効果の深さを調整します。MAX側に回すと深くなりMIN側に回すと浅くなります。
- SPEED: 効果の速さを調整します。MAX側に回すと速くなります。
- MODE: モードIでは通常の4段シフトフェイズ・サウンドが得られ、モードIIでは、より効果を強調した(8段シフト)フェイズ・サウンドが得られます。
- FEED BACK: フィードバックの量を調整します。MAX側に回すと強くなりエフェクト音にクセが強調されます。

SPECIFICATIONS

- 定格入力: 20dBm ● 定格出力: 20dBm ● MODE: I 4段シフター II 8段シフター ● SPEED: 0.1sec ~ 10sec ● FEED BACK: 0 ~ 100% ● ファンクション: DEPTH, SPEED, MODE, FEED BACK ● 端子: INPUT, OUTPUT ● 消費電流: 32mA (DC 9V) ● 電源: 9V乾電池 [5-006P (N)] ● オプション: ACアダプター (AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

SOUND INSTRUCTION

オーソドックスなフェイズサウンド

①のように、DEPTH、SPEEDを中央に、MODEをIに、FEED BACKを少しMAX側にセットすると、オーソドックスなフェイズ・サウンドが得られます。従来のフェイズ・シフターに比べ、暖かみのあるナチュラルなトーンですから、フェイジング・トーンが雑味に強調されず、あらゆる曲調にマッチするサウンドです。コンプレッサーの後に接続し、ミュートのフレーズを弾くというバッキング・プレイにはピッタリです。ディストーションやオーバードライブと併用する時は、ディストーション等の後に接続するとレンジ感の広い素直なフェイズ・サウンドが得られますが、ディストーション等の前に接続すると歪み方にウネリが加わった独特なクセのあるサウンドも得られます。なお、SNが良い(ノイズが少ない)ので、ディストーション等ゲインを上げるエフェクトの前に接続してもノージーになりません。

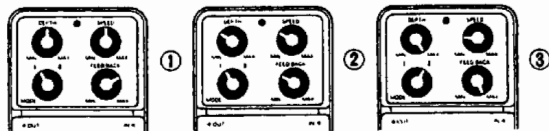
隠味的なフェイズサウンド

②のように、DEPTH、SPEED、FEED BACKをそれぞれMIN側に少

し直し、MODEをIにセットすると、ごく薄くフェイズシフトされた控え目なフェイズ・サウンドが得られます。アンサンブルの中で使えば、ほとんどエフェクトを使っていなくても薄い効果ですが、コードワークやフレージングにドライブ感を与えます。ディストーションやオーバードライブの前にセットし、フレージングやテンポに合わせてSPEEDを調整すればスピード感のあるディストーション・サウンドが得られるでしょう。MODEをIIに切換えれば、控え目ながら、厚みのあるフェイズサウンドも得られます。

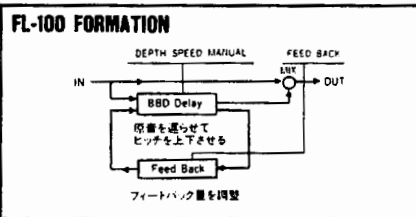
フランジャーに似た深いフェイズサウンド

③のように、DEPTH、FEED BACKをそれぞれMAXに、SPEEDをMIN近くに、MODEをIIにセットすると、PH-100の8段位相シフトをフルに利用した、大変深いウネリのあるフェイズサウンドが得られます。コードのロングトーンやスローなアルペジオに使えば、倍音が上下に強調された、フランジャーのような効果を出します。中域の暖かさは、PH-100独特のものと言えるでしょう。



2048段BBDが生み出す、深みのある

FL-100は、コーラス的効果からうねりのある強烈なフランジ
ング効果まで多彩な音色変化をプロデュース。2048段タイ
プのBBDを採用することにより、いままで得られなかったカラ
フルで深みのあるエフェクトレンジを獲得。ジェットサウンド、SE
(サウンド・エフェクト)のようなFL-100ならではのマジカルな
エフェクトも可能で
す。ギター、ベース、
キーボードなどあら
ゆる楽器とハイレ
ベルにマッチングし
ます。



FL-100 COMMAND

- DEPTH:効果の広さ(くし形フィルター特性を左
右に動かす幅=ピッチ変化の上下幅)を調整しま
す。MAX側に回すと広くなり、MIX側に回すと速く
(一定に)なります。
- SPEED:効果の速さ(くし形フィルター特性を左
右に動かす速さ=ピッチ変化のテンポ)を調整し
ます。MAX側に回すと速くなります。
- MANUAL:効果を強(くし形音域)を調整します。
MAX側に回すと高域、左に回すと低域での音色
変化が得られます。(デレイタイムをコントロール:
MIN=18msec~MAX=2msec)
- FEED BACK:フィードバック量をコントロールし
てフランジャー特有の効果を調整します。

SPECIFICATIONS

- 定格入力:-20dBm ●定格出力:-20dBm ●デ
レイタイム(MANUAL):18msec(MIN)~2msec
(MAX) ●モジュレーションスピード(SPEED):0.1
Hz~10Hz ●フィードバック(FEED BACK):
0~100% ●ファンクション:DEPTH, SPEED,
MANUAL, FEED BACK ●端子:INPUT,
OUTPUT ●消費電流:30mA(DC 9V) ●電源:9
V乾電池[S-006P(N)]*オプション:ACアダプター
(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

鮮烈なモジュレーションウェイブ。

SOUND INSTRUCTION

FL-100は4つのツマミの調整で、
コーラスのような効果から、激しいうねり
のあるフランジ効果、SE(サウン
ド・エフェクト)のような不思議な効果
までクリエイトできます。それだけに始め
のうちはセッティングが難しいかもしれ
ません。それぞれのツマミがどのように
音色を変えるかじっくり研究してくださ
い。

オーソドックスなフランジ

①のようにDEPTH, SPEED,
MANUALを中央にセット、FEED
BACKは少しMIN側にセットすると、オ
ーソドックスながら、2048段BBD回路
を使用したFL-100特有の厚く暖か
みのあるフランジ・サウンドが得ら
れます。このセッティングから、それぞ
れのツマミを動かしてトーンの変化をチ
ェックすると、FL-100の多彩な表現
力を理解しやすいかも知れません。な
お、DEPTHをMAX一杯に回すと、
MANUALを回しても効果はありません。
またFEED BACKをMAX一杯
に回すと発振を起こし演奏をしなくて
も音が出る事があります。

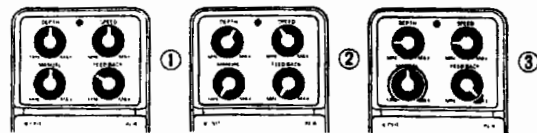
コーラス・サウンド

②のように、DEPTHを少しMAX
側に、SPEEDを少しMIN側にセット、

MANUALとFEED BACKをMIN
一杯にセットすると、コーラスと同様の
効果が得られます。CH-100とFL-
100の内部の音の流れの図(FOR-
MATION図)等を見れば訳る通り、
コーラスのデレイタイムを短くし、
FEED BACKを加えたものがフラン
ジャーの原理です。MANUALを
MINに(デレイタイムを最大に)して、
FEED BACKをMIN(=0)にして
やればフランジャーはコーラスと同じ
働きをする訳です。このセッティングで
FEED BACKを少し上げると厚み
のあるフランジ・コーラスの効果が
得られます。

サウンド・エフェクト的なフランジ

③のようにDEPTHとSPEEDを控
え目に、FEED BACKをMAX近く
(発振しない範囲で)にセットします。こ
のセッティングでコードのロングトーン
やスローなアルペジオを弾くと、フラン
ジにより各音の倍音が上下にゆっく
り強調整されて大変不思議なサウン
ドが得られます。強調したい倍音の音
域はMANUALで調整します。また
DEPTHをMINにセットすると強調され
る倍音は一定に届き、MANUALの
調整でチューブラベルズのようなサウ
ンドも得られます。

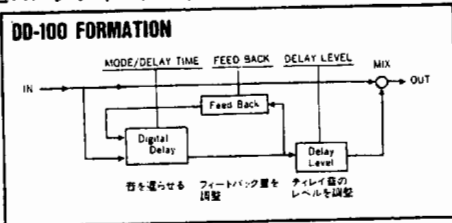


デジタルディレイ

DD-100 ¥15,800 (税抜き)

12ビットデジタルのナチュラル・ディレイ

DD-100は、微妙なタイム・ニュアンスを完全にフォローし、ギターサウンドに最もふさわしいウォームなディレイ効果を発揮。12ビットデジタル化により、ハイクオリティな音質の獲得のみにとどまらず、最大ディレイタイム1400msを実現。ショートディレイ効果から超ロングディレイ効果まで、均一かつ圧倒的な有効性を誇ります。特にロングリビートディレイでは、テープエコーを思わせるナチュラルさです。



DD-100 COMMAND

- DELAY TIME: 各MODE(S, M, L)の範囲内でのディレイタイムを調整します。MAX側に回すと長くなります。
- DELAY LEVEL: ディレイ音のレベルを調整します。MAX側に回すとディレイ音のレベルは原音のレベルに近ずき、MIN一杯では原音のみ出力されます。
- MODE: モードを切換えます。各モードでのディレイタイムは次の通りです。
S (ショート・ディレイ): 22ms~88ms
M (ミドル・ディレイ): 88ms~350ms
L (ロング・ディレイ): 350ms~1400ms
- FEED BACK: ディレイ音の繰返し回数を決めます。MAX側に回すと回数が増し、MIN一杯では1回のみになります。

SPECIFICATIONS

- 定格入力: -20dBm ● 定格出力: -20dBm ● 全高調波歪率: 0.5% (1kHz, -10dB) ● ディレイタイム: Short/22ms~88ms, Middle/88ms~350ms, Long/350ms~1400ms ● ファンクション: DELAY TIME, DELAY LEVEL, MODE(S, M, L), FEED BACK ● 端子: INPUT, OUTPUT ● 消費電流: 50mA (DC 9V) ● 電源: 9V乾電池 [S-006P(N)] ● オプション: ACアダプター (AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

ディレイ系

がギタリストを直撃。

SOUND INSTRUCTION ソロプレイに向く自然な ミドル・ディレイ

①のように、MODEをMに、DELAY LEVELをMAX方向に少し回し、FEED BACKを控え目にセットします。ゆったりとしたフレージングに向いた、ナチュラルなディレイサウンドです。多くのデジタルデバイスのように無理に高域を強調しないため、自然なディレイ感が得られます。DELAY TIMEは曲のテンポに合わせて、1拍や8分音符の長さにセッすると良いでしょう。MODE=Mで程良いディレイタイムが得られない時は、S、Lを利用して構いません。

スラップエコー的な ショート・ディレイ

②のように、MODEをSに、DELAY TIMEを中央に、DELAY LEVELをMAX側に、FEED BACKを中央にセッすると、オールディーズに似合うスラップエコーのようなショート・ディレイが得られます。エコーの音はDELAY TIMEで、長さはFEED BACKで調整すれば良いでしょう。DD-100の暖かいディレイ音のため、アナログディレイのようなナチュラルなニュアンスも出せます。

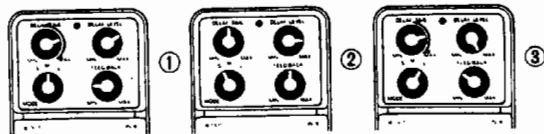
なお、MODE=SでDELAY TIME, FEED BACKをMIN一杯に

セッすればダブリング効果が得られます。特にディストーションサウンドに厚みを加えたい時などに大変効果的です。DELAY TIMEを短かく設定すれば、よりバープに似た効果が得られます。強さはDELAY LEVELで調整する良いでしょう。

サウンド・オン・サウンドにも 向くロングディレイ

③のように、MODEをLに、DELAY LEVELをMAX一杯に、FEED BACKを少しMIN側にセッします。これでDELAY TIMEを曲のテンポに比べて、2拍~1小節といった長さに合わせると、プレイしたフレーズがその長さ分遅れて出てきますから、それに重ねたり追いかけるように新たなフレーズを弾く事で、サウンド・オン・サウンドのプレイが楽しめます。一本のギターでハーモニーをつけたり、トリッキーなプレイが可能ですから、色々チャレンジしてみてください。なお、DD-100は1400msまでのロングディレイが得られます。テンポが171で、1小節は1400msですから、幅広い可能性を持つ事が出来るでしょう。

■なおDD-100は他のSDSに比べ消費電流が比較的大きいので、長時間の使用にはACアダプターを使用して下さい。



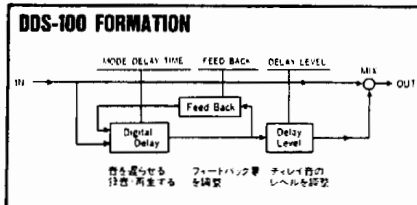
デジタルディレイサンプラー

DDS-100 ¥17,500(税抜き)

MM デレイ系

超ロングディレイ&サンプリングタイム

DDS-100は、かつてないナチュラルなディレイ・サウンドと広大なサンプリングエリアを獲得。12ビットデジタル化により、22msから最大1400msもの超ロングディレイタイムを実現。ハイエンドを強調する不自然な音創りを避け、ギターサウンドの特性を生かしたワームな効果を作り出します。また、サンプラー機能は、楽曲、マイク等から多重録音が可能。センスあふれる個性的な音空間を創造します。



44

DDS-100 COMMAND

- DELAY TIME: MODE(S, M, L)の範囲内でのディレイタイムを調整。右に回すと長くなります。サンプリングモードでは、録音時間や再生スピードを調整。
- DELAY LEVEL: ディレイ音のレベルを調整します。MAX側に回すとディレイ音のレベルは原音のレベルに近づく。MIN一杯では原音のみ出力されます。
- FEED BACK: ディレイ音の繰り返し回数を決めます。MAX側に回すと回数が増えます。
- MODE: S(ショート・ディレイ): 22ms~88ms, M(ミドル・ディレイ): 88ms~350ms, L(ロング・ディレイ): 350ms~1400ms, R/P:(レコーディング・サウンド・オン・サウンド), P:(サンプリング・プレイ)

SPECIFICATIONS

- 定格入力: -20dBm ● 定格出力: -20dBm ● 全高調波歪率: 0.5%(1kHz, -10dB) ● ディレイタイム: Short/22ms~88ms, Middle/88ms~350ms, Long/350ms~1400ms ● サンプリングタイム: 350ms~1400ms ● モード選択: ディレイモード(S, M, L), サンプリングモード(R/P, P) ● ファンクション: DELAY TIME, DELAY LEVEL, MODE(S, M, L, R/P, P), FEED BACK ● 端子: INPUT, OUTPUT ● 消費電流: 50mA(DC 9V) ● 電源: 9V乾電池(S-006P(N)) ● オプション: ACアダプター(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

が生む鮮烈な音空間。

SOUND INSTRUCTION

DDS-100は、デジタル・ディレイDD-100にサンプラーの機能をプラスしたものです。MODE S, M, LではDD-100と全く同じ効果が得られますから、DD-100のページを参考にして下さい。ここではサンプリングモードでの使用例を紹介します。

サンプリング — 録音

サンプリング(録音)の手順を話します。

- まず①のようにMODEをR/Pに、DELAY LEVELをMAX一杯に、FEED BACKをMIN一杯にセットします。
- デジタルディレイ内に録音されている不要な音を消去するため、フットSWを1回押します。
- 録音時間をDELAY TIMEで調整します。MINで350ms(0.35秒)、MAXで1400ms(1.4秒)になります。ここでは仮に中央付近にセットしておきます。
- 録音したい演奏を始めると同時にフットSWを踏んですぐ離します。録音中はインジケーターが点灯し終了すると消灯します。これで録音完了です。

サンプリング — 再生

サンプリング(録音)した音を再生する手順です。

- ②のようにMODEをPにセットします。

再生の音量を小さくしたい時はDELAY LEVELをMIN方向へ回していきます。

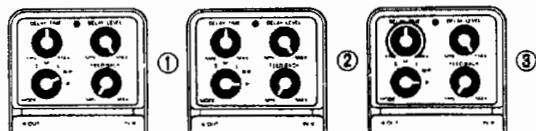
● フットSWを踏むとサンプリングされた音が再生されます。フットSWを踏み続けなければ、繰り返し何度でも再生されます。

● 1拍~1小節くらいのバックイングフレーズをサンプリングしておき、テンポに合わせてフットSWを踏んだり、踏み続けたり、サンプリング音をバックにソロ・プレイをする事が可能です。

● プレイの際に、③のようにDELAY TIMEを調整すると、再生音のピッチを変える事ができます。2オクターブの範囲で変える事が可能ですから、様々なリッキーな効果を生む事ができます。たとえば、録音時にDELAY TIMEをMIN一杯にセットし、再生時にMAX一杯にセットすれば、2オクターブ下がって再生されます。

● バックイング、ソロなどにディレイをかけた時はDDS-100の後にDD-100かDDS-100を接続。ソロのみにディレイをかけた時は、DDS-100の前にDD-100かDDS-100を接続して下さい。

■ DDS-100は他のSDSシリーズに比べて消費電流が比較的大きいので長時間の使用にはACアダプターを使用して下さい。



45

コンプレッサーwithグラフィックイコライザー

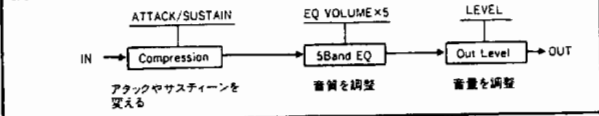
GC-100 ¥14,000(税抜き)



機能的なカップリングが実現するプロ

GC-100は、コンプレッサー機能とグラフィックイコライザー機能をワンボディにビルトイン。ギターからの信号を、フォトカプラー採用のコンプレッサー回路でサステーンや音のツブ立ちを確保し、グラフィックイコライザー回路によって好みのトーンをクリエイトすることができます。もちろん、各回路は単独仕様においてもハイグレードなパフォーマンスを発揮。プロのエフェクトテクニックを1台で実現する高機能デバイスです。

GC-100 FORMATION



GC-100 COMMAND

- EQ VOLUME:それぞれの周波数帯をブーストしたりカットして音色を創るスライドボリュームです。
- SUSTAIN:音をどのくらい伸ばすかを調整するスライドボリュームです。
- ATTACK:ピッキング時のアタックの強さを調整するスライドボリュームです。
- LEVEL:イコライジングした音全体の出力レベルを調整するスライドボリュームです。

SPECIFICATIONS

- 定格入力:-20dBm ●定格出力:-20dBm ●イコライジングボリューム:±12dB 5系下連続可変100Hz, 300Hz, 900Hz, 2kHz, 3.5kHz ●レベルコントロール(LEVEL):±12dB連続可変 ●アタックタイム:10msec (ATTACKmin)~130msec (ATTACKmax) ●リリースタイム:40msec (ATTACKmin)~0.6msec (ATTACKmax) ●最大圧縮比:25dB入力+3dB, @0dB=775mV ●ファンクション:EQUALIZING VOLUME X5, SUSTAIN, ATTACK, LEVEL ●端子: INPUT, OUTPUT ●消費電流:24mA (DC 9V) ●電源:9V乾電池[S-006P(N)] ●オプション:ACアダプター(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

ライクなサウンドメイク。

SOUND INSTRUCTION

GC-100はコンプレッサー→グラフィックイコライザーという順になっていますから、イコライジングによってコンプレッサーのかかり方が変わってしまう事はありません。積極的なイコライジングを試して下さい。

カラフルなリード・トーン

①のように、コンプレッサーのATTACKを弱めにSUSTAINを強めにセットし、グラフィックイコライザーは、300, 2K, 3.5kHzをブースト、100, 900Hzをカットします。音量補正のため、LEVELを少し弱めておきます。このセッティングでは、ピッキングのダイナミクスが適度に残り、サステーンの長いカラフルなリード・サウンドが得られます。グラフィックイコライザーは、トーンに暖かみとシャープなサステーンを加えています。

GC-100の特徴を生かしたリズム・サウンド

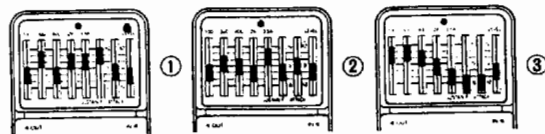
②のように、コンプレッサーのATTACKとSUSTAINを中央付近に、グラフィックイコライザーは、300Hzを軽く、3.5kHzを強くブースト、100Hzと900Hzをカットします。このセッティング

では、あらゆるリズム・プレイに向く粒の揃ったシャープなリズム・サウンドが得られます。フットSWひとつで、コンプレッサーとイコライザーを同時にしかも、ベストセッティングでON/OFF可能。スムーズなサウンドチェンジと合理的なエフェクツ接続はGC-100ならではの特徴です。

メロウなリード・トーン

③のように、コンプレッサーのATTACKとSUSTAINを最小にセットし、グラフィックEQのローエンドをブースト、ハイエンドをカットの形でセットすると、ジャズ等に向けたフアットなリード・サウンドが得られます。

グラフィックEQをこの逆に、ローエンド・カット、ハイエンド・ブーストの形でセットし、コンプレッサーのATTACKを最小に、SUSTAINを最大にセットした場合は、コンプレッサー特有のクイーンという立ち上がりとロング・サステーンにシャープなトーンをプラスする事ができます。このセッティングはトリッキーなフレージングやブラック奏法(弦を指でつまんで離す)に大変効果的です。特にブラック奏法時の立ち上がりの感じにとてもユニークなトーンですからぜひ試してみてください。



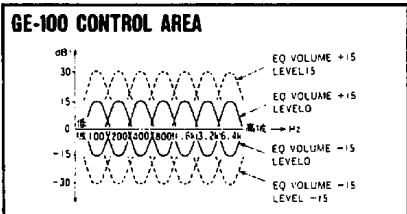
グラフィック・イコライザー

GE-100 ¥11,000(税抜き)

EQ系

ギター音域を確実にイコライジングし、

GE-100は、個性的なトーンを創造。ギターの音域に確実な効果を発揮する周波数帯を厳選。100Hz、200Hz、400Hz、800Hz、1.6kHz、3.2kHz、6.4kHzの7バンドを、それぞれ+15dB~-15dBの範囲でブースト/カットが可能。幅広い音創りはもちろん、ノイズ、ハウリング対策までもサポート。ギタリストのセンスを決定づけるオリジナルトーン・メイクをハイレベルにバックアップします。

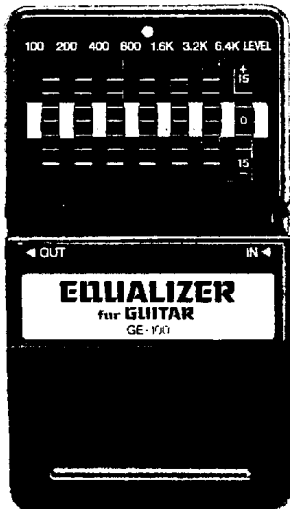


GE-100 COMMAND

- EQ VOLUME:それぞれの周波数帯をブーストしたりカットして音色を創るためのスライドボリュームです。上側に動かすとその周波数帯はブースト、下側に動かすとカットされます。ブースト/カットは±15dBです。
- LEVEL:イコライジングした音全体の出力レベルを調整するスライドボリュームです。上側に動かすと音量が上がり、下側に動かすと音量は下がります。音量の変化は±15dBです。

SPECIFICATIONS

- 定格入力:-20dBm ●定格出力:-20dBm ●イコライジングボリューム:±15dB 7素子連続可変 100Hz、200Hz、400Hz、800Hz、1.6kHz、3.2kHz、6.4kHz ●レベルコントロール(LEVEL):±15dB連続可変 ●ファンクション:EQUALIZING VOLUME×7、LEVEL ●端子:INPUT、OUTPUT ●消費電流:12mA(DC 9V) ●電源:9V乾電池[S-006P(N)]*オプション:ACアダプター(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)



多彩なトーンアレンジに貢献。

SOUND INSTRUCTION

グラフィック・イコライザーは、それぞれの周波数帯がどのような音色の特徴を持っているかを理解して使い効果的です。そのために、まず全てのEQ、VOLUMEをフラット(0)にセットし、ある周波数帯のつまみを上一杯に動かしてブースト、次に下一杯に動かしてカットし、ギターのトーンがどのように変化するかを自分の耳で確かめて下さい。クリーン・トーンではもちろん、ディストーション・サウンドでも試してみてください。また、ディストーションやオーバードライブの前に接続した時と後に接続した時では効果が随分変わってきますから、それらもチェックすると良いでしょう。

ギターの特徴的な周波数をブーストしたセッティング

①のように、400Hzを強めに、3.2kHzを少しブーストします。グラフィック・イコライザーは各周波数帯のつまみが曲線や直線でスムーズに結ばれるようにセットするのが一般的なセオリーですから強めにブーストした400Hzの両隣の周波数帯も、少しブーストしておきます。

このセッティングでは、400Hzのブーストにより、ギターのトーンに箱鳴りのような豊かさを与え、3.2kHzのブーストにより音の輪郭をくっきりとさせる効果が得られます。ブーストのみのセッティングによる全体の音量の増加を、LEVELを

下げて適正な音量に押さええます。

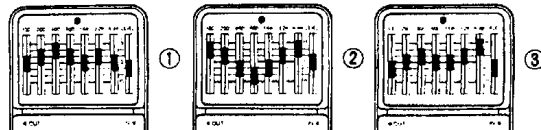
小型ギター・アンプで大型スタックアンプをシミュレート

②のように、低域をブースト、中域をカット、高域をブーストする事により、大型スタックアンプのような幅広いレンジ感のあるドンシャリ・サウンドを作ります。各周波数帯のつまみが800Hzを中心としたV字型になるようにセットするのがポイント。鋭いV字を描けばより効果は強くなりますが、図のセッティングくらいまでが無難でしょう。中域が物足りない時は、400、800、1.6kHzをそれぞれ少しずつ上げていきます。

特にディストーションの後にGE-100を接続した時に迫力のあるサウンドが得られます。

シャープなコードカッティングに向くセッティング

③のように、6.4kHzを強(ブースト)シャープなハイエンドを強調します。サウンドに腰を与える為に、400Hzを少しブースト、高域をナチュラルにする為に、3.2kHzも少しブーストし、LEVELを少し押さええます。このセッティングでは、ファンシーなコードカッティングに向いた、シャープなサウンドが得られます。アンプのブライツ等を使う時は6.4kHzをグッと控え目にした方が良いでしょう。



ノイズリデューサー

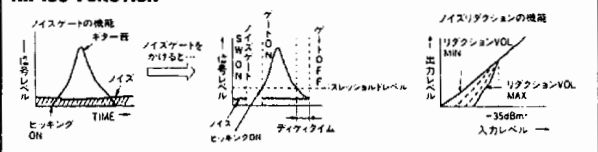
NR-100 ¥11,000 (税抜き)

MM OTHERS

2チャンネル独立回路の採用により、圧倒的なノイズリダクション効果。

NR-100は、複数のエフェクター使用時に圧倒的なノイズリダクション効果を発揮。シリーズ接続された2種類のノイズリダクション回路を2系統搭載。第1の回路は、無音時に目立つノイズを強力にカット。第2の回路は、通常レベルの信号だけをクローズアップ。イン/アウトともステレオ仕様で、ステレオ空間におけるノイズ対策も完璧です。

NR-100 FUNCTION



NR-100 COMMAND

- THRESHOLD:ノイズゲート(第1の回路)のゲートON/OFFのレベルポイント(スレッシュホールドレベル)を設定します。MAX側に回すほどスレッシュホールドレベルは高くなります。
- DECAY:信号がスレッシュホールドレベルまで下がった後、ゲートを閉じるまでの時間を設定します。MAX側に回すほど時間が長くなります。
- REDUCTION:ノイズリダクション(第2の回路)の効果のかけ具合を設定します。MAX側に回す程度深くなります。

SPECIFICATIONS

- 定格入力:-20dBm ●定格出力:-20dBm ●ファンクション:THRESHOLD(Noise Gate), DECAY(Noise Gate), REDUCTION ●端子:INPUT×2, OUTPUT×2 ●消費電流:35mA (DC 9V) ●電源:9V乾電池[5-006P(N)] ●オプション:ACアダプター(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

SOUND INSTRUCTION

セッティングの仕方

NR-100は、原音を加工するものではなく、原音をなるべく忠実に再現し、ノイズを消したり目立たなくするためのデバイスです。他のSDSシリーズに比べ、セッティングの仕方が少し難かしいかもしれませんが、次の手順に従えばスムーズにセッティング可能。ナチュラルで完全なノイズのシャットアウトができます。

①のように3つのつまみをMINにセッティングします。まずノイズゲートをセッティングします。THRESHOLDを少しずつ上げ、演奏しない状態でスピーカーからノイズが消え、演奏した時にピッキング等の強弱が不自然にならないポイントを探します。

音が減衰していつ消えていく時、途切れてしまいますから、自然に減衰していく感じが出るまでDECAYを上げていきます。必要以上にあげると、音が消えた後、ノイズが聞こえてしまうので注意して下さい。

THRESHOLDとDECAYのポイントが決まったらノイズリダクションをセッティングします。②のようにREDUCTIONを少しずつ上げて、音が減衰していく時のノイズが目立たなくなり、なおかつ自然な減衰が

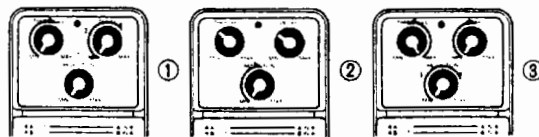
得られるポイントを探します(②)。必要以上に上げると、音が急に減衰する不自然な感じになってしまいますから注意して下さい。

以上でセッティング完了です。THRESHOLD,あるいはREDUCTIONを再設定する時は、再び最初からやり直した方が良いでしょう。

ゲインを上げるギタリストのセッティング法

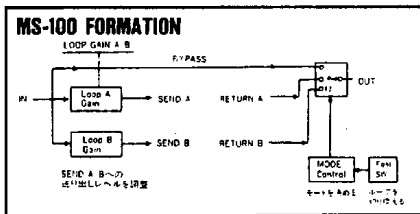
ディストーションなどでゲインを高く上げるギタリストの場合は、③のようにNR-100のノイズゲートの効果を最大にしたセッティングからスタートしても良いでしょう。この場合、まずTHRESHOLDを自然なダイナミクスが得られる点まで下げてください。DECAY, REDUCTIONのセッティングは先程と同様です。

NR-100は、REDUCTIONをMIN一杯にすれば、ノイズゲート(第1の回路)のみが、THRESHOLDをMIN一杯にすれば、ノイズリダクション(第2の回路)のみが働きます。それぞれの効果を試し、両方を最大限に活用して下さい。



4パターン切り換えで、思いのままにエフェクトシステムをコントロール

MS-100は、2系統のエフェクトループを4パターンの中から自由に切り換えられるセレクター。単に2系統を切り換えるタイプとは一線を画するフレキシビリティを獲得しました。モードは、①A→B、②A→BYPASS、③B→BYPASS、④A→B→BYPASSの4パターン。各ループには、ゲインコントロール(センドレベル)を装備。数多くのエフェクターを駆使用するプレイヤーの足元に、ぜひ欲しい一台です。



MS-100 COMMAND

- MODE: ループ切り換えるモードを次の4パターンの中から選びます。
A→B/A→BYPASS/B→BYPASS/A→B→BYPASS
- LOOP GAIN: ループに送り出す信号のレベルを調整します。内側がループA、外側がループBで、それぞれ右に回すと出力が大きくなります。(±12db)
- インジケータ: ループの状態を表示します。RED=ループA、GREEN=ループB、消灯=BYPASSであることを示しています。全モード共通です。

SPECIFICATIONS

- 定格入力: 20dBm ●定格出力: 20dBm ●ゲインコントロール (LOOP GAIN): ±12dB連続可変
- ファンクション: MODE, LOOP GAIN A, LOOP GAIN B ●端子: INST, AMP, SEND A, RETURN A, SEND B, RETURN B ●消費電流: 25mA (DC 9V) ●電源: 9V乾電池 [S-006P (N)] ●オプション: ACアダプター (AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)



SOUND INSTRUCTION

バックギング/ソロをワンタッチでチェンジ

バックギング/ソロはコンプレッサー (CS-100) とコーラス (DC-100)、ソロパートはディストーション (MBD-100) とディレイ (DD-100) を使いたいという場合、瞬時に4回フットSWを踏む必要があります。が、MS-100に①のように接続し、MODEをA→BにセットしておけばMS-100のフットSWのみで切り換え可能です。しかもA/Bループの音量バランスはMS-100のLOOP GAINのみでコントロールできますから、セッティングもスムーズになります。

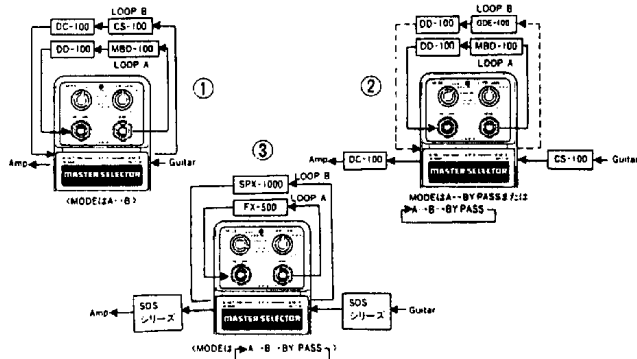
複数エフェクターを一度にON

ソロにディストーション (MBD-100) とディレイ (DD-100) を使いたい時は、②

のようにループAに接続しMS-100で一度にONできます。さらに違うニュアンスのソロ・サウンドが欲しい時は、ループBにオーバードライブ (ODE-100) とディレイ (DD-100) を接続し、A→B→BYPASSモードでMS-100のフットSWで瞬時に切り換えが可能になります。

ラックマウント式エフェクトを足元でコントロール

③のように、MS-100のループにラックマウント式のエフェクターを接続します。MS-100は適正レベルが幅広く設定してあるため、ラックマウントタイプともマッチングOK。足元のSDSシリーズとラックマウント・エフェクターの橋渡しとしても活用できます。これらの使用法はほんの一例です。あなたのシステムに合った便利な活用法が必ずありますからぜひお試しください。



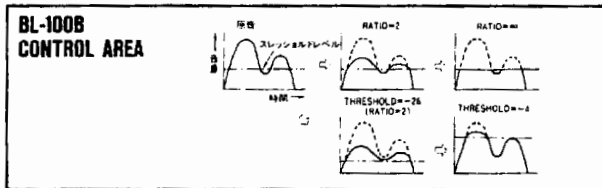
ベースリミッター

BL-100B ¥10,000(税抜き)

MM FOR BASS

ベース特有のアタック、サステーンを

BL-100Bは、あらゆるベース奏法において最適な音のツブ立ちを表現。ベースからの入力信号は、THRESHOLDとRATIOで設定したレベルによって圧縮。フィンガリング、スラップなど、それぞれの奏法のニュアンスを最大限に生かすリミッティングサウンドを創造。アタック、サステーン感のコントロールは思いのまま。プロフェッショナル・レコーディングで必ず使われるエフェクターのコンパクト・バージョンです。



BL-100B COMMAND

- OUT LEVEL: エフェクトON時の最終的な音量を設定。右に回すほどレベルが上がり、ON OFF時の音量バランスを調整してください。
- RATIO: THRESHOLDで設定したレベル以上の信号をどの程度圧縮するかを調整します。たとえば2にセットすると2倍に圧縮し、∞にセットするとスレッシュホールドレベルまで圧縮して押さえ込みます。
- THRESHOLD: 入力信号の圧縮を始めるレベルを決めます。左に回す小さな信号でも圧縮し、右に回すと突発的な大きな信号だけを圧縮します。
- TONE: 音色を調整します。MAX側に回すと高域をブーストし硬い音に、MIN側に回すと低域をブーストし柔らかい音になります。

SPECIFICATIONS

- 定格入力: -20dBm ● 定格出力: -20dBm ● スレッシュホールドレベル (THRESHOLD): -26dB ~ -4dB (0dB=1V) 連続可変 ● レシオ (RATIO): 1:8:1 ~ ∞:1 連続可変 ● ファンクション: OUT LEVEL, RATIO, TONE, THRESHOLD ● 端子: INPUT, OUTPUT ● 消費電流: 15mA (DC 9V) ● 電源: 9V乾電池 [S-006P (N)] * オプション: ACアダプター (AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

ベストコンディションで表現。

SOUND INSTRUCTION

フィンガリングのニュアンスを生かすリミッティング

①のようにRATIOを弱めに、THRESHOLDをMIN一杯にセットします。ベースからの大きい信号のみを軽く圧縮するセッティングです。スレッシュホールドレベルが低いので音量が押し込まれた分はOUT LEVELを少し上げておくと良いでしょう。これで、奏法を問わず幅広く使える自然な感じのリミッティング・サウンドが得られます。特にフレットレスベースのようにダイナミクスやトーンの変化が大きいプレイに向くトーンです。

THRESHOLDによるスレッシュホールドレベルの設定は使用するベースの出力によって効果が大きく変わってきます。出力の大きなアクティブサークキットのベースの場合、一般のパッシブタイプよりTHRESHOLDを高めに(右方向に)セットしても充分効果が得られます。逆に出力の小さいベースの場合は、THRESHOLDを低めに(左方向に)セットして下さい。THRESHOLDを右に回す程スレッシュホールド・レベルは高くなり、リミッティングの効果は小さくなり、左に回す程効果が大きくなります。RATIOは右に回す程、押さえ込む効果が大きくなりま

すから、注意して下さい。

スラップの粒を揃え安定感を増すリミッティング

②のように、RATIOを高めに、THRESHOLDを好みのサウンドが得られる点にセットします。THRESHOLDはあまり左へ回しすぎないように注意して下さい。アタック感は、RATIOを左に少し回す事で補えます。THRESHOLDの設定により押さえ込まれていた音量をOUT LEVELで補正します。TONEはブライトな感じを出すために少し上げておくと良いでしょう。ベース自体のトーン・コントロールは、リミッティング前の音質を、BL-100BのTONEはリミッティング後の音質をコントロールします。

過大入力によるアンプのクリッピングを防ぐリミッティング

③のように、RATIOをMAXに、THRESHOLDを高めにセットすると突発的な大音量によるアンプの歪みを防止したり、アンプやPAの保護のためのリミッティングが可能です。過大な入力のみをスレッシュホールドレベルまで押さえ込むため、プレイのナチュラルなニュアンスを最大限生かします。使用するベースの出力によってTHRESHOLDを適正レベルにセットして下さい。



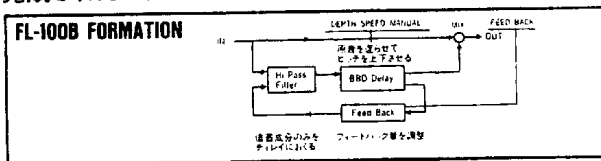
ベースフランジャー

FL-100B ¥14,000(税抜き)

MM for Bass

ベース専用回路が可能にした比類なきシャープなウネリ。

FL-100Bは、あらゆるベース奏法に対応する縦横無尽なウネリをコントロール。ベースのサウンドキャラクターに合わせたチューンにより、ベースの倍音成分のみにフランジャーをかけるフィルター回路を採用。フランジング回路には2048段BBDを採用し、強烈なジェットサウンド・セッティングにおいても、ベース本来の音像を確実にキープします。ベースリスト待望の、完成されたフランジング効果を実現したユニットです。



FL-100B COMMAND

- DEPTH: 効果の広さ(くし形フィルター特性を左右に動かす幅=ピッチ変化の上下幅)を調整します。MAX側に回すと広くなり、MIN側に回すと狭く(一定)になります。
- SPEED: 効果の速さ(くし形フィルター特性を左右に動かす速さ=ピッチ変化のテンポ)を調整します。MAX側に回すと速くなります。
- MANUAL: 効果を強(くし)る音域を調整します。MAX側に回すと高域、MIN側に回すと低域での音色変化が得られます。(ディレイタイムをコントロール: MIN=12msec~MAX=1.5msec)
- FEED BACK: フィードバック量をコントロールしてフランジャー特有の効果を調整します。

SPECIFICATIONS

- 定格入力:-20dBm ●定格出力:-20dBm ●ディレイタイム(MANUAL):12ms(MIN)~1.5ms(MAX) ●モジュレーションスピード(SPEED):0.1Hz~10Hz ●ファンクション:DEPTH, SPEED, MANUAL, FEED BACK ●端子:INPUT, OUTPUT ●消費電流:30mA(DC 9V) ●電源:9V乾電池[S-006P(N)]*オプション:ACアダプター(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

SOUND INSTRUCTION

FL-100Bは、ベースの倍音成分のみにフランジングをかけるデバイスですから、従来のフランジャーのように、アンサンブルの土台となるベースの低音域のピッチの不安定感を起こすことはありません。4つのつまみのコントロールにより幅広い音創りができますが、それだけに始めのうちはセッティングが難しいかもしれません。それぞれのつまみの役割を、FL-100のページも参考にじっくり研究してください。

ビック弾きに向くフランジング

①のように、DEPTHとSPEEDを少しMAX側に、MANUALは少しMIN側に、FEED BACKは控え目にセットするとベースのリアPUを使ったサステインのあるビック弾きや、リミッターで粒をそろえたビック弾きに向けた、ゴロゴロと言ったニュアンスのフランジング・サウンドが得られます。DEPTHとSPEEDは曲のサウンドやフレージングのテンポに合わせて調整し、MANUALで効果の欲しい音域を決め、FEED BACKでフランジングの量を決めます。ベースからの音がトレブリーなほどフランジングが目立ちますから注意して下さい。

フィンガーピッキングに向く浅いフランジング

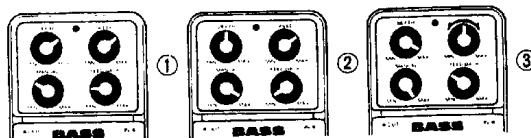
②のように、MANUALをMAX近くにセットし、アタック時の音にフランジングをかけ、FEED BACKはMIX近くにセッ

トすると、フィンガーピッキングのウォームを残しながら、アタックに強めに、サステインにごく弱めにかかる上品なフランジングトーンになります。更に控え目にしたい時はSPEEDをMIN方向に回してみると良いでしょう。ベースの倍音成分のみにフランジングをかけるFL-100Bならではの使えるサウンドと言えるでしょう。

スラップ・ソロに向く派手なフランジング

倍音成分のみに効果のかかる、とは言っても、過激なフランジングが(似合う)シチュエーションは少ないのですが、スラップソロなら③のようなセッティングも良いでしょう。DEPTHとMANUALをMAXにセット、高域に強くフランジングをかけ、FEED BACKは控え目にして、SPEEDで効果を調整します。低音をどっしりとキープし、サムビング時の倍音やブルにのみフランジングが派手にかかります。

■FL-100Bはベース用に開発されたフランジャーですが、中高域のみフランジングをかけるため、キーボードにももちろん、ディストーションと多用するギタリストにも、通常のフランジャーより爽やかなかかり具合が評価されています。なお、FL-100のセッティングチャート②、③のような過激なセッティングも試してみてください。



ベースグラフィックイコライザー

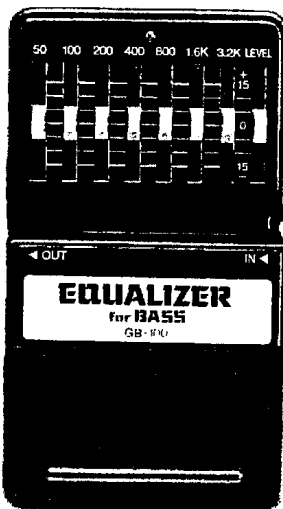
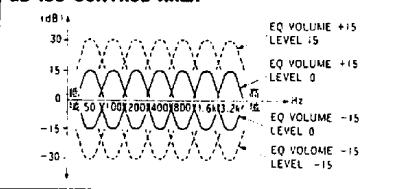
GB-100 ¥11,000(税抜き)

for Bass

厳選された7バンド・コントロールが、最適なベーストーンを約束。

GB-100は、ベースの最低音から最高音、さらには倍音成分までも確実にコントロール。50、100、200、400、800Hz、1.6、3.2kHzの7バンドを、それぞれ±15dBの広範囲に渡ってブースト/カットできます。GE-100同様、LEVELツマミも装備。ステージでも、スタジオでも、プレイスタイルを問わずベストなベーストーンを創る才能は、ベースリストのイメージーションをハイレベルにバックアップします。

GB-100 CONTROL AREA



60

GB-100 COMMAND

- EQ VOLUME:それぞれの周波数帯をブーストしたりカットして音色を創るためのスライドボリュームです。上側に動かすとその周波数帯はブースト、下側に動かすとカットされます。ブースト/カットは±15dBです。
- LEVEL:イコライジングした音全体の出力レベルを調整するスライドボリュームです。上側に動かすと音量が上がり、下側に動かすと音量は下がります。音量の変化は±15dBです。

SPECIFICATIONS

- 定格入力:-20dBm ●定格出力:-20dBm ●イコライジングボリューム:±15dB 7素子連続可変
- 50Hz、100Hz、200Hz、400Hz、800Hz、1.6kHz、3.2kHz ●レベルコントロール (LEVEL):±15dB連続可変
- ファンクション:EQUALIZING×7、LEVEL ●端子:INPUT、OUTPUT ●消費電流:12mA (DC 9V) ●電源:9V乾電池[S-006(N)]
- *オプション:ACアダプター(AC-05 ¥1,500/AC-320 ¥8,500)

SOUND INSTRUCTION

グラフィック・イコライザーは、それぞれの周波数帯がどのような音色の特徴を持っているかを理解して使えば効果的です。そのために、まず全てのEQ、VOLUMEをフラット(0)にセットし、ある周波数帯のツマミを上一杯に動かしブースト、次に下一杯に動かしてカットし、ギターのトーンがどのように変化するかを自分の耳で確かめて下さい。クリーントーンではもちろん、ディストーション・サウンドでも試してみてください。また、ディストーションやオーバードライブの前に接続した時と後に接続した時では効果が随分変わってきますから、それらもチェックすると良いでしょう。

フィンガーピッキングをよりパワフルにするセッティング

①のように、50Hzを強めにブースト、800、1.6kHzを軽くブーストして、サウンド全体のレンジ感を広げ、フィンガーピッキングで強く出がちなブーミーサウンドを200Hzを軽くカットする事で押さえます。このセッティングでは、より太い重低音とフィンガリングやアタック感の強調された、タイトでパワフルなフィンガー・ピッキング・サウンドが得られます。フィンガー・ピッキングによる、ブーミーなトーンの

ポインは150~300Hzにありますから、単に100~400Hzをcutするだけでも効果的でしょう。この場合はLEVELを少し上げて音量を補正して下さい。

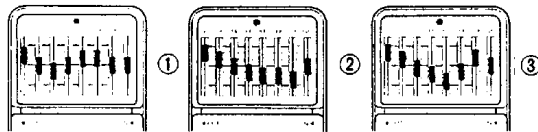
フラットピッキングをソフトにナチュラルにするセッティング

フラットピッキングによるベースプレイでは、シャープなアタックとプライトなサステーンが得られますが、スローなバラードなど曲調によってはこのトーンがマッチしない事も多いようです。そんな場合は次のようなセッティングが向いてでしょう。

②のように、フラットピッキング特有のハイ・エンドを押さえ、不足しかたなロー・エンドを補うために800~3.2kHzをカット、50~100Hzをブーストします。ピッキング時のアタック感を残したい場合は800~1.6kHzを少し上げて下さい。

ドンシャリのスラップ・サウンド

③のように、800Hzを中心に、V字型にセッティングします。サムベックとプルにおけるアタックの耳ざわりな成分が弱められ、アタックはトレブリーに、サステーションは重低音が増し、よりレンジ感の広いスラップ・サウンドが得られます。

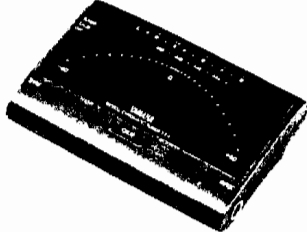


61

アクロバティック

デジタルクロマチックチューナー YT-1 ¥8,600(税抜き)
高精度デジタルプロセスにより、確実にオートチューニング。

デジタル・クロマチック・チューナーYT-1は、入力した音に一番近い音の音名を自動的にクロマチック(半音単位)に表示、その音名より高いか低いかがメーターが表示します。クロマチックですから、あらゆる楽器のチューニングに対応。オープン・チューニングを多用するギタリストにも向いています。もちろんMANUALチューニングも可能。シンプルなLED表示により、周囲の明るさに影響されないため、あらゆる条件で素早く確実なチューニングができます。さらに、A=438~445Hzの範囲において1Hzステップで標準ピッチをセットできるキャリブレーションモード、スルージャック、バッテリーチェック機能を装備。精度と機能と耐久性を追求したプロフェッショナルグレード・チューナーです。



SPECIFICATIONS

●コントロールパワー&モードスイッチ、キャリブレーションスイッチ ●端子:インプット、スルー ●マイクロフォン:内蔵タイプ ●表示:セント表示LED(LEDメーター)、音名表示LED、0セント位置マークLED ●精度:±0.5cent ●測定範囲:C、(32.70Hz)~B₂(3951.07Hz)7オクターブ ●キャリブレーション範囲:A=438Hz~445Hz(1Hzステップ) ●電源:9V乾電池[S-006P(N)] ●寸法:116W×74.5H×30.5D(mm) ●重量:130g(電池含む)

オートギターチューナー YT-2 ¥4,800(税抜き)
シンプル&ハイクオリティ設計のスタンダードチューナー。

YT-2は、ギタリストとベーシストをジャストチューニングでバックアップ。エレクトリックはもちろん、内蔵マイクでアコースティックにも対応。MANUALモードでは、あらかじめ弦を指定してその弦をチューニング。初めての時や、チューニングが大きくずれたギターは、このモードでチューニングします。微妙にチューニングがずれたギターは、AUTOモードを使用。弾いた弦を自動的に感知してLED表示するため、スイッチ操作は不要です。チューニングガイドLED、ランプ照明を装備。スルージャック、バッテリーチェック機能も採用。ギター&ベースのフィニッシュに合わせて選べる5カラーがラインナップした、ハイクラスパフォーマンスです。



SPECIFICATIONS

●コントロールパワースイッチ、オート/マニュアルスイッチ ●端子:インプット、スルー ●マイクロフォン:内蔵タイプ ●表示:メーター(ランプ照明付)、音(弦)名表示LED、チューニングガイドLED、オートモードLED ●精度:±1.0cent ●測定範囲:C、(32.70Hz)~B₂(3951.07Hz)7オクターブ ●電源:9V乾電池[S-006P(N)] ●寸法:133W×68H×33.5D(mm) ●重量:180g(電池含む)

ヴォリュームペダル

VP-500(エレキリックギター&ベース対応 モノラルイン・モノラルアウト ハイインピーダンス)¥6,000(税抜き)
VP-50ST(エフェクター&キーボード等対応 ステレオイン・ステレオアウト ローインピーダンス)¥6,000(税抜き)
スムーズなヴォリューム変化と高いサウンドクオリティを実現。

人間工学に基づいてデザインした安定感あふれるフォルム。イメージ通りのヴォリューム変化を優れた操作性で表現します。ミニマムヴォリューム、チューナーアウトを装備。ライブパフォーマンスにおいても、ローノイズなクオリティの高いサウンドを出力します。

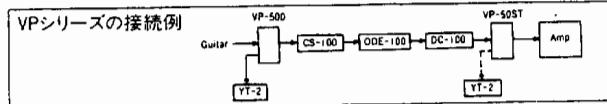


SPECIFICATIONS

VP-500 ●入力インピーダンス:500k ●コントロール:ヴォリューム(ペダルコントロール)、ミニマムヴォリューム ●端子:インプット1、インプット2、アウトプット1、アウトプット2、チューナーアウト ●寸法:200W×57H×86D(mm)

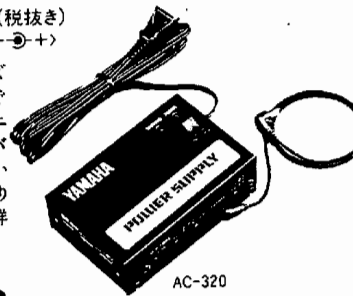
VP-50ST ●入力インピーダンス:20k ●コントロール:ヴォリューム(ペダルコントロール)、ミニマムヴォリューム ●端子:インプット1、インプット2、アウトプット1、アウトプット2、チューナーアウト ●寸法:200W×57H×86D(mm)

VPシリーズの接続例



パワーサプライ AC-320 ¥8,500(税抜き)
合計320mAまで安定した電源を供給。←①→+

9ボルト×8出力仕様。SDSシリーズなどのエフェクターに、合計320mAまで安定して電源を供給するパワーユニット。容量オーバーを知らせるオーバーロードインジケータを採用し、高い信頼性を獲得。コンパクト設計によりエフェクターボードへの装着性も抜群です。



SPECIFICATIONS

●端子:DCアウト×8 ●表示:オーバーロード ●電源:AC100V ●寸法:125W×50H×81D(mm) ●重量:640g ●付属品:DCコード×4 ●別売DCコードEDC-1 ¥300(税抜き)

シングルパワーサプライ AC-05 ¥1,500(税抜き)
SDS全モデルの電源を確実にサポート。←①→+

9V、100mA出力仕様。余裕のある容量と安定した電圧は、特にSDSデジタルエフェクターに最適。バッテリー残量を気にすることなく、SDSシリーズ全モデルのスーパーパフォーマンスをフルに引き出せます。

SPECIFICATIONS

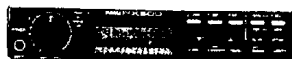
●INPUT:100V 50/60Hz 4VA ●OUTPUT:DC9V、100mA

シグナル・プロセッサ

サイマルエフェクトプロセッサ

FX500 ¥49,800(税抜き) <+> <-> <DIGITAL> <MIDI>
5種類のデジタル・エフェクターを同時に複合使用が可能。

1台でコンプレッサー→ディストーション→イコライザー→モジュレーション→リバーブ/ディレイの5つのデジタル・エフェクターを同時に複合して使用可能。16ビット量子化&44.1kHzサンプリングの高音質で、即戦力の60プリセット&30ユーザーズエリアをメモリー。MIDIにも対応。



- 寸法・重量=220W×45H×250Dmm/1.4kg
- 付属品=ACアダプターPA-1207

ベースサイマルエフェクトプロセッサ

FX500B ¥49,800(税抜き) <+> <-> <DIGITAL> <MIDI>
ベースистを強力にサポートする5in1デジタル・エフェクト。

コンプレッサー→オーバードライブ→イコライザー→モジュレーション→リバーブ/ディレイの5つのデジタル・エフェクターを同時に複合して使用可能。コンプレッサーとイコライザーはベース専用で細分化、30のベース用プリセット&30ユーザーズエリアをメモリー。MIDIにも対応。



- 寸法・重量=220W×45H×250Dmm/1.4kg
- 付属品=ACアダプターPA-1207

MIDIフットコントローラー

MFC06 ¥13,800(税抜き) <+> <-> <->
FX500/FX500Bのメモリーを足元で呼び出し可能。5エフェクト個別のオン/オフもOK。



- 電源=単3乾電池×6(付属)/別売ACアダプターPA-1B ●寸法・重量=444W×41H×130Dmm/1.2kg(乾電池含む)

リバーブプロセッサ

R100 ¥29,800(税抜き) <+> <-> <DIGITAL> <MIDI>
60エフェクトがプレイヤーの創造力をグレードアップ。

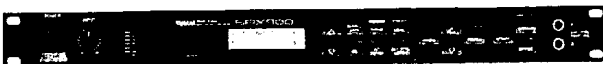
独自のDSP技術を結集し、エディット可能な60プログラムのエフェクトを内蔵。音質は、もちろんプロフェッショナル・グレード。トリッキーな効果にも自在にアクセスできる。MIDI対応本格派デジタルリバーブです。



- 寸法・重量=220W×44H×150Dmm/900g ●付属品=ACアダプターPA-1B
- *他の#100シリーズ機からR100へカスケード接続で電源供給することはできません。

プロフェッショナルマルチエフェクトプロセッサ

SPX900 ¥89,800(税抜き) <DIGITAL> <MIDI>
プロのエフェクト・テクニックを凝縮した驚異の機能性。



プロからの圧倒的な信頼を誇るデジタル・マルチ・エフェクター。マルチ・エフェクト×10、デュアル・エフェクト×3を含む50プログラムを内蔵。最高の音質と音楽的完成度が、トップグレードのサウンドを創造します。

- 寸法・重量=480W×45.2H×315Dmm/4.1kg

ギターサウンドプロセッサ

GSP-100 ¥19,200(税抜き) <+> <-> <->
独自のデジタル回路により、個性あふれるギター・サウンドをクリエイト。

ゲインとマスターの2ヴォリューム、3バンドのトーンコントロール、そしてパラメトリックイコライザー。さらには、ディストーション・スイッチとサウンドを豊かに広げるUMBスイッチまでも搭載。プロクラスのギター・サウンドをクリエイトするギタリスト必携のプリアンプです。



- 消費電流=120mA ●寸法・重量=220W×45.5H×217Dmm/1.2kg ●付属品=DCカスケード・ケーブル*GSP100には別売ACアダプターPA-1B、PA-5、またはパワーサプライPW100が必要です。

ベースサウンドプロセッサ

BSP100 ¥18,000(税抜き) <+> <-> <->
積極的なエフェクトがナチュラルなベース・サウンドを実現。

音のツブを揃えるコンプレッサー、歪みをおさえるリミッターを内蔵。さらに、BASS, MIDDLE, TREBLEの3バンドのトーンコントロール、63、160、400、1k、2.5kの5バンドのグラフィックイコライザーをも装備し、ベース・サウンドの特性を最大限に生かしたレコーディングを可能にします。もちろん、スピーカーを接続すれば、トレーニング、ライブでも活躍。



- 消費電流=80mA ●寸法・重量=220W×45.5H×217Dmm/1.1kg ●付属品=DCカスケード・ケーブル*BSP100には別売ACアダプターPA-1B、PA-5、またはパワーサプライPW100が必要で。

パワーサプライ

PW100 ¥10,000(税抜き) <+> <->

複数の#100シリーズ機に電源を供給するパワーサプライ。3つのDC12V出力端子で合計最大2Aまで供給可能。

●DC12V出力=300mA、700mA、1A ●ACアウレット=トータル500W ●寸法・重量=220WX45.5HX220Dmm・1.6kg ●付属品=DCカスケ



ードケーブル*PW100のDC12V出力端子の極性は、外側が(-)で、内側が(+){+}です。コンパクトエフェクターなど、極性の異なる機器との接続は故障の原因となるので、絶対にお避けください。

デジタルリバーブ

DR100 ¥24,500(税抜き) <+> <->
<DIGITAL>

4タイプの空間をシュミレートし、サウンドの拡がりや奥行き感を表現。

独自のデジタル処理により、ナチュラルで高品位なリバーブ・プログラムを、ルーム、ライブハウス、ホール、スタジアムの4種類プリセット。フロントパネルのスイッチ操作で、ワンタッチで呼び出すことができます。また、ミキシン



グ・ヴォリュームを装備し、原音とリバーブ音との音量バランスは思いのまま。

●消費電流=220mA ●寸法・重量=220WX45.5HX217Dmm・1.1kg ●付属品=DCカスケードケーブル*DR100には別売ACアダプターPA-1B、PA-5、またはパワーサプライPW100が必要です。

ステレオグラフィックイコライザー

Q100 ¥18,100(税抜き) <+> <->

ハイコストパフォーマンスを誇る7バンド・ステレオグラフィックイコライザー。



●消費電流=80mA ●寸法・重量=220WX45.5HX217Dmm・1.1kg ●付属品=DCカスケードケーブル*Q100には別売ACアダプターPA-1B、PA-5、またはパワーサプライPW100が必要です。

ダイナミックプロセッサ

DP100 ¥19,500(税抜き) <+> <->

コンプレッサーとノイズゲートを2ユニットずつ搭載した完全2チャンネル独立仕様。



●消費電流=80mA ●寸法・重量=220WX45.5HX217Dmm・1.1kg ●付属品=DCカスケードケーブル*DP100には別売ACアダプターPA-1B、PA-5、またはパワーサプライPW100が必要です。

MIDIフットコントローラー

MFC1 ¥28,000(税抜き)



MIDI対応エフェクターのプログラムなどの高度な制御を可能にするフットコントローラー。

MIDIフットコントローラー

MFC05 ¥11,800(税抜き)

SPX900、R100など、MIDIに対応したエフェクターのメモリーを足元で呼び出し可能。

スタックジョイントキット

JK100 ¥800(税抜き)

#100シリーズの2台のスタック用ジョイント金具(R100には対応していません)。



ティルトスタンド

TS100

¥1,500(税抜き)

FX500などのフロントパネルを見やすく、操作しやす(するためのティルト(傾斜)スタンド。

ラックマウントキット

RK-200 ¥5,000(税抜き)

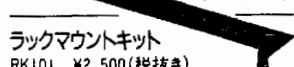
#100シリーズ専用の2Uラックマウントキット。2台重ねてマウントする時は、JK100が必要(但し、R100はJK100に対応していません)。



ラックマウントキット

RK100 ¥2,500(税抜き)

#100シリーズ用の1Uラックマウントキット。



ラックマウントキット

RK101 ¥2,500(税抜き)

FX500や#100シリーズ用の1Uラックマウントキット。2台収納可能。

ACアダプター

PA-1B(定格電流300mA) ¥2,000(税抜き)

PA-5(定格電流2000mA) ¥3,500(税抜き)

DR100(定格電流220mA)や、他の#100シリーズに電流を供給。各#100シリーズをDCカスケードケーブルで接続し、消費電流合計がACアダプターの定格電流以内であれば、1個で複数のモデルへ電源を送ることが可能です。*R100(専用ACアダプター付属)へのカスケード供給はできません。



ATTENTION

- SDSボディサイズ:70W×61H(GC-100、GE-100、GB-100は55H)×126Dmm
- SDS全モデルには9V乾電池[S-006P]が付属しています。
- SDSシリーズの入力端子の極性は、外側が(+){+}で、内側が(-){-}です(→+){-}。アダプターを接続する際は、必ず専用パワーサプライAC-05かAC-320をご使用ください。
- GSP100、BSP100、DR100、DP100、Q100の、入力端子の極性は、SDSシリーズとは異なり、外側が(-){-}で、内側が(+){+}です(+→-){-}。電源には、必ず専用のパワーサプライPW100、または別売電源アダプターPA-1B、PA-5をご使用ください。
- 極性の異なる機器間の接続は故障の原因となるため絶対にお避けください。

■規格及び仕様は、改良の際予告なく変更する場合があります。

本カタログに掲載しております価格は全てメーカー希望小売価格(税抜き価格)です。ご購入の際に別途消費税のご負担をお願い申し上げます。